

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/1(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)本日はかなり気温が低めになってきた。2号機のRPVの窒素注入がAMより開始されている。後ほどN2封入関係については報告する。発電所の状況は、本日より着任された■■■所長よりお願いいたします。

(1F ■■■所長)本日から着任したのでよろしくお願ひしたい。本日は雨もなくけが人もなく、ただ寒くなってきたので今後注意していきたい。また本日に AM に牛とぶつかった事故があったので注意していきたい。

(1F 発電班)昨日から実施のN2封入は継続している。1号機は、現在、給水系から4.2m<sup>3</sup>/hで注水中です。RPV 底部ヘッド温度は44.4℃、D/W 内温度は47.1℃、D/W 圧力は13kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は17℃です。2号機は、昨日中断となったN2封入を開始している。また昨日、23:13、SFP が系統差流量大で停止した。現在も停止中だが停止時の温度は22.7℃、現在は24℃、上昇率は0.3℃/h。現在、CS系から4.2m<sup>3</sup>/h、給水系から3.1m<sup>3</sup>/h、あわせて7.3m<sup>3</sup>/hで注水中です。RPV 下部ヘッド上部温度は70.5℃、今朝方計測系不具合で瞬時D. Sとなって復帰したが、その状態でそのときより7℃ほど下がっているが、他の温度パラメータに変化ないので監視継続。D/W 内温度は77.4℃、D/W 圧力は9.3kPa<sub>gage</sub>です。PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.6%です。SFP 水温度は24℃です。3号機は、昨日よりPCVガス管理システムにより注入を継続している。現在、CS系から6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から2.0m<sup>3</sup>/h、あわせて8.0m<sup>3</sup>/hで注水中です。RPV 下部ヘッド温度は68.5℃、D/W 内温度は60.8℃、D/W 圧力は0.2kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は20℃、安定しています。4号機はSFP 水温度は26℃、共用プール水温度は20℃です。

(1F5, 6号発電班)トピックスは5号機ですが、昨日に引き続き本日も引き続き取水路の海水ポンプ室の清掃を実施してまして、朝方に海水系のポンプを約11時間ほど停止していましたが、現在は海水ポンプも再起動しています。炉水温度の最高温度は39.1℃、プール水温度は最高温度は25.3℃で、いずれも前日並の状況。引き続き監視していきます。明日の早朝から11時間ほど停止予定。

(1F1～4号復旧班)水移送は、継続。滞留水処理は順調に処理してまして、17時現在、SARRYが28.6m<sup>3</sup>/h、KURIONが16.4m<sup>3</sup>/hで処理中です。ROが先日出口圧力高でトリップしましたが、RO2を本日試験運転をかねて起動しており、RO3を停止した。詳細はセンタより報告する。蒸発濃縮装置は運転中です。本日、明日とベッセル交換はありません。水位は、2号機は今朝に比べまして9～12mm程下降してまして、T/BでOP2990mmです。3号機は5～7mm下降で、トレンチの水位OP3205mmという状況です。4号機はT/Bで14mm下降のOP2971mmです。1号機はR/Bが10mm下がり、OP3980mm、T/B抜管エリアにて11mm上昇でOP3396mm、の状態です。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は17mm上昇でOP2265mm、HTI建屋は27mm下降でOP1740mmです。2号機RPVへのN2封入については、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

昨日はうまくいきませんでした。本日11時に5Nm<sup>3</sup>/H で注入を開始しました。PCV 側は従前の26Nm<sup>3</sup>/H で注入を継続している。PCV ガス管理システムは、24 Nm<sup>3</sup>/H から34Nm<sup>3</sup>/H に増やしている。明日AMにN<sub>2</sub>のRPV封入を5から10に増やすので、ガス管理システムの量も増操作を行う。発電班から話しのあった2号機SFPについては明日まで停止を継続し、FTの点検工事を行う。昨日23:00時点で22.7℃、本日13:00で23.8℃、17:30で24℃、当初予想の0.3℃/hより少ない上昇率。明日、所内共通M/C2Aの受電があり気をつけて行いたい。

(1F5,6号復旧班)明日の作業ですが、浄化水の散水はありません。12/5以降、再開予定としています。6号のT/Bから仮設タンクへの移送、本日10:00から継続して明日の16時まで実施予定です。

(1F土木班)タンク関係の作業はGエリアで排水口、Hエリアでタンクの水張り試験を継続実施しています。5号機の補機ポンプ室内の清掃作業について、継続で実施していた。明日はAMに、水中カメラにより清掃状況の確認を行う。午後からは状況を確認して清掃を再開して、12/5まで実施する予定。海側遮水壁の関連の作業について、1工区、海渠内の作業、5本予定しているボーリングについて、3本目が終了した。明日から4本目のボーリングの準備に入る。2工区、4号機の放水路側ですが、3本計画のうち、2本目のボーリングを現在行っている。

(1F建築班)ガラ撤去関係、3号機ガラの撤去については3号機タービン屋上で引き続きダクトチラーの解体を行っている。その他は地組ヤードでの足場の組み立て、Rw/B近傍でガレキコンテナ・給油タンク台座の移動、重機のつり込み、3号機で西側で冷却ユニット養生、中央台ヤードでPC盤搬入、4号機ガラ撤去関係は、南面の壁および柱の解体、ボーリング調査を引き続き実施。スラッジ棟では継続で足場の解体とスチールドアの取付、本日、建物の一部の山側ポンプ綱引き渡しを行っている。設備棟では明日、コンクリート打設前のボンベ庫床周りの段取りと空調基礎の工事。その他はガレキ収集運搬、66開閉所施設にともなう建築工事、共有プール建屋の引き続き計装機作業となっています。

(安定化C)窒素関係の状況について、作業状況を説明する。

(外部冷却T)圧力容器に封入できなかった件、事務所において手順書を確認し、原因が同定され、本日注入が実施できた。実際に2号機に使用していた手順書だが、N<sub>2</sub>ホースをつないだ箇所、開閉する弁の絵を閉止のプラグと誤認していて、この弁の開閉が抜けていた。機械側で手順を作成したが、計装との議論で開けていないのではとの話となり、施工後の写真から開けていないということが判明。作業者は開閉する弁はLTより上にしかないと思いこんでいたが、開閉状態が写真でわかるようにしていたので、写真からわかった。その弁を今朝方開けて、2号機も約5m<sup>3</sup>で封入できている状況となった。今後は先日お話したが、流量計の追設について、物がそろい次第変更する予定。

(小森C長)手順のレビューの仕方、現場の線量も制限条件というものもあるので、どう

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いった確認が有効か、深掘りをしたい。その後のパラメータについて次に報告する。  
[ ]N2を入れ始めて、冷たいN2の影響かと思われるが、RPVの各部の温度が下がってきている。2号機はまだ入っているという状況の確認には至っていない。ガス管理システムのH2濃度は現時点では0.6%の濃度で現状維持となっている。現在ガス管理システムで引いている量も増えているのでそちらのパラメータ推移も併せて確認したい。3号機のRPVの温度の挙動については、フランジ部分がN2封入後に下がってきて、ベローシール部分もその後若干遅れて下がってきている。以上から、昨日から注入を開始した1, 3号機については、N2封入がしっかり行われていると判断している。このまま4日継続して、このままパラメータに異常がなければ、10Nm<sup>3</sup>/hまで上昇を行うこととしたい。また本日より開始した2号機については温度、水素濃度ともにまだ変化ないため、明日、N2封入流量の増加を行い、パラメータを継続監視したい。

(環境影響評価G) 24, 25日において、港湾内9点において海底土の調査を行っている。シルトフェンスに被われている1~4号機は、両端の場所で、Cs137で80万Bq/kg、中央部では6万Bq程度、最大で160万Bq (Cs134, 137合計)として、報道されているとおり。もともと2, 3号機からの流出の対策として、シルトフェンスを南北に張り巡らした対策の効果と考えている。港湾物揚場の近辺で、Cs137で6万Bqで、これまでの結果と大きな違いがない。5, 6号機の前では、5号機前が、137で8500Bq/kg 6号機前が53000Bq/kg。端にある6号機側が1桁高い結果となっている。港湾の中央付近では、1号機の沖合Cs-137で1万6千 Bq、3号機沖合は5万7千Bq。1号機フェンス前に比べたら一桁くらい高い。港湾入り口はCS-137で4900Bq/kg。南放水口と北放水口は2000~3000なのでだいたい同じ値が出ている。ある程度シルトフェンスの閉じこめの効果が出ているものと考えている。

明日 1, 2号機で放出量評価のためのダストサンプリングを予定している。1号機のカバーシステムとダストシステムのサンプリングを予定している。

(小森 C 長) 作業を着実に、また評価も総合的な放出量評価をお願いしたい。

(水処理PJ) 水処理関係のRO2の起動の概略について。23日に2トレインのうち1つが異常停止し、RO3 が起動して水処理が行われているが、本日11:20にPSを交換して、その後順調に運転している。原因調査では、RO膜があつて、破れて圧力が上がった場合やブレイクして上昇した場合に後段に PS があつてトリップするようになっている。また導電率系によってもトリップする仕組み。PSについては、ANN の値が48psi で、通常は10psi 程度。このSPが動作。RO膜の健全性は確認できた。PSは工場を確認中だが、どこが壊れているのか、確認中。新品交換して、起動停止で再現性を確認しているが特になかった。しばらく様子を見たい。RO1,2 を起動し、RO3 を停止しているのが今の状態。本日 SPTの水位が高かったため、追加で RO3を起動して75t/hで処理を急いだのが15時の段階。より信頼性が高いように、圧力変化のPSをたたくリスクについて見直してタイマーを入れるなど、また過渡的な圧力

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

を拾わないような運用の変更について検討を始めている。

(本店広報班)本日のプレスの説明状況は、11時から当社単独、16時から統合会見。海底土のサンプリング結果等について説明しているが、特段やりとりは発生していない。PMの会見でも、昨日の炉心の状態に関するやりとりはあるが、その他については特段大きな焦点となるやりとりは今のところ無い。

(小森安定化C長)12月なので、寒くなってきた。作業員さんの防寒対策についても様子を見ながら対応していきたいので、関係者のご協力をお願いします。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/2(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)気温低めであったが、雨は降らなかった。後ほど安定化Cから何点か報告する。

(1F)曇りで気温は氷点下まで下がることはなかった。3号機の件以外は計画通り進んだ。

(1F 発電班)1号機は、炉注流量が低下していたので、流量を  $4.0 \text{ m}^3/\text{h}$  から  $4.5 \text{ m}^3/\text{h}$  に流量調整した。プラントパラメータに有意な変化はない。給水系から  $4.5 \text{ m}^3/\text{h}$  で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は  $44.8^\circ\text{C}$ 、D/W 内温度は  $47.6^\circ\text{C}$ 、D/W 圧力は  $19 \text{ kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 水温度は  $15^\circ\text{C}$  です。2号機は、RPV への窒素ガス供給量を  $5 \text{ Nm}^3/\text{h}$  から  $10 \text{ Nm}^3/\text{h}$  まで増やした。また停止していた SFP 系を 13:50 に起動した。起動直前のプール水温度は  $28^\circ\text{C}$  だった。現在出入口の差流量は  $5 \text{ Nm}^3/\text{h}$  で安定している。CS 系から  $4.3^3/\text{h}$ 、給水系から  $3.1 \text{ m}^3/\text{h}$ 、あわせて  $7.4 \text{ m}^3/\text{h}$  で注水中です。RPV 下部ヘッド上部温度は  $70.7^\circ\text{C}$ 、D/W 内温度は  $77.7^\circ\text{C}$ 、D/W 圧力は  $10.6 \text{ kPa}_{\text{gage}}$  です。PCV ガス管理システムの水素濃度は現在  $0.6\%$  です。SFP 水温度は  $28^\circ\text{C}$  です。3号機は、入口ストレーナ交換のため停止していた SFP を 15:36 起動した。再起動時の SFP 温度は  $18.1^\circ\text{C}$  でほとんど上昇はなかった。CS 系から  $6.1 \text{ m}^3/\text{h}$ 、給水系から  $2.1 \text{ m}^3/\text{h}$ 、あわせて  $8.2 \text{ m}^3/\text{h}$  で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は  $68.3^\circ\text{C}$ 、D/W 内温度は  $60.8^\circ\text{C}$ 、D/W 圧力は  $0.3 \text{ kPa}_{\text{gage}}$ 、SFP 水温度は  $18^\circ\text{C}$ 、安定しています。2、3号機の SFP を再起動したが、プール容量が大きいので温度が下がるのは時間がかかる。4号機は SFP 水温度は  $23^\circ\text{C}$ 、共用プール水温度は  $19^\circ\text{C}$  です。

(1F5, 6号発電班)5号機は本日も取水路の清掃のため、海水系ポンプを約11時間程停止している。炉水温度は最高到達温度は  $39.4^\circ\text{C}$ 、プール水温度は  $25^\circ\text{C}$  であったため、前日とほぼ同じ程度の上昇であった。

(1F1～4号復旧班)水移送は、継続。滞留水処理は順調に処理していき、17時現在、SARRY が  $28.6 \text{ m}^3/\text{h}$ 、KURION が  $16.1 \text{ m}^3/\text{h}$  で処理中です。RO も運転している。蒸発濃縮装置は3A のみの運転であったが、18時丁度に明日の電源切替えのため停止している。蒸発濃縮装置は全停となっている。本日ベッセル交換はありませんでした。明日はキュリオンの H ベッセル2塔交換、AGH ベッセルの1塔切替と取り出しを予定している。RO 処理水移送ラインの淡水側は保温の施工を順次しているが、7カ所でピンホールが見つかっている。いずれも1秒に1～2滴程度の微量な漏えいであり、 $\beta\gamma$ 線検出されていない。水位は、2号機は今朝に比べまして  $9 \text{ mm}$  程下降していき、T/B で  $OP2962 \text{ mm}$  です。3号機は  $5 \text{ mm}$  下降で、トレンチの水位  $OP3191 \text{ mm}$  という状況です。4号機は T/B で  $6 \text{ mm}$  下降の  $OP2963 \text{ mm}$  です。1号機は R/B が  $13 \text{ mm}$  下がり、 $OP3947 \text{ mm}$ 、T/B 抜管エリアにて  $12 \text{ mm}$  上昇で  $OP3427 \text{ mm}$ 、の状態です。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は  $18 \text{ mm}$  上昇

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で OP2308mm、HTI 建屋は29mm 下降で OP1660mm です。

2号機 RPV への N2 封入については、5~10に増やしたのに合わせて PCV ガス管理システムは、34Nm<sup>3</sup>/H から39Nm<sup>3</sup>/H に増やしている。2号機 SFP 冷却装置だが、FE の点検結果計器の異常はないとのことで、計装配管にエアが入っていたとのことで監視していく。3号機 SFP ストレーナ取り替えをし吸込み圧力は復帰している。所内共通 M/C2A 受電は無事終了。明日は蒸発濃縮装置の M/C 切替、並びに予備変 M/C の切替がある。3号機 R/B 荷揚台車による線量調査だが、台車がスタックしケーブルが絡まっているとのことで電源 OFF のみの対応となっている。2号機 PCV 内調査のため、仮設遮蔽の搬入等行ったが線量は計画値以内であった。

(1F5,6 号復旧班) 明日の作業ですが、浄化水の散水はありません。滞留水移送も明日はなし。

(1F 土木班) タンク関係の作業は G エリアで排水口、H エリアでタンクの水張り試験を継続実施しています。1~4号機の海側遮水壁の関連の作業について、準備工事としてボーリングを実施中であり、明日も継続で実施する。5号機の補機ポンプ室内の清掃作業について、本日実施しており、明日も継続で実施する。

(1F 建築班) 3号機上部ガラ撤去については、ダクト解体、ガラの荷下ろし、地組ヤードでの架台、足場の組み立てを実施している。明日も継続作業だが、北側の構台ヤードで Rw/B に補機構台の荷揚げを実施する。4号機ガラ撤去関係は、南面の壁および柱の解体を行った。明日は屋根の梁の鉄骨撤去を行う。スラッジ棟では床の塗装、建具の取付、ボンベ部の基礎の打設(コンクリ)を行っている。明日はなし。

(安定化 C 水処理プロジェクト) 明日の電源停止に合わせて、キュリオンのセシウム吸着塔メインのところ及び構台側に AGH セルがあるが、3HH4 で除去している。BF は 10<sup>4</sup> から 10<sup>5</sup> 位を出しているが、セシウム吸着能力の高い KH メディアを入れたい。明日 AGH の1を取り出して閉止し、今後 AGH の2に入れたいと考えている。KH メディアの概要だが、ヘルシアン? 化合物が混ざっているメディアである。従来のものに銀が混ざっているもの。KH メディアについては低濃度のセシウム吸着性能が高いとされている。10<sup>5</sup>DF がコンスタントに出るようにしたい。来週の火曜日にそちらで交換したい。

保温剤の施工をヤードでしているが、9km を協力企業で実施しており、全長30%位終わっている。直営作業では2km分を400m施工が終わっている。全長11kmである。保温剤施工についてはホース点検も兼ねている。本日、D エリアでいくつかピンホールが確認されており、5ロケーション、箇所としては7カ所であった。応急対策は終わっている。放射能測定をしたが、検知されていない。来週以降ホースを新品にしたい。原因については、恐らく木の芽は見られなかったが、同じようなものと考えている。恒久対策は検討していく。

(安定化 C 外部循環 G) 3号機で荷揚台車を入れて中の作業を計画していたが、台車がスタックしたので状況をお知らせする。目的は3号機 PCV ガス管理システム導

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

入のための工事であり、機器ハッチ上部に設置されている FCS のテストラインから格納容器の中を抽気する予定である。当該箇所が雰囲気線量が高い & 高所であるので、荷揚台車にて遠隔で輸送することを計画していた。また取合の線量情報を入手することも考えている。つまり、遠隔操作が可能かどうか、機材搬入移動道路の確認、既設取合箇所の線量情報入手を目的に入った。情報棟から電波をとばして荷揚台車を走行させる。あらかじめ資機材を FCS 取合部の高所の所に運び、後は人が作業をすることを考えていた。(詳細な時系列を書面で紹介) 荷揚台車を操作していたが、何か引っかかって動かなくなり、人が入って状況を確認している。(写真紹介)。上からケーブルが垂れ下がっていて、それが車輪に引っかかったと考えられる。台車はバッテリーで動いているので、電源を入れていると動かなくなるので本日は OFF にするため 16:19 現場に入った。最終的に 16:28 に作業員は出てきた。線量は最大 3.04 mSv であった。原因を追及して、検討していく。

(安定化 C 環境影響評価 G) 11月29、30日に3号機ダスト測定をしている。採取地点は4点で実施している。測定結果は、11月29日、30日について、セシウム134、137が検出されている。およそ $10^{-4}$ オーダーであったが、北東部は $10^{-3}$ オーダーで比較的高い。11月11日に測定した値とほぼ同等であった。機器ハッチは上部と下部で計測しているが、(聞き取れず)。12月5日(月)再度ダスト採取する予定。

10月に採取したストロンチウム分析結果について報告する。採取箇所は1号機 R/B、機器ハッチ、2号機ブローアウトパネル、3号機 R/B、機器ハッチである。おおよそ $10 \sim 10^3$  mBq/m<sup>3</sup> 検出されている。セシウムと比べ二桁低い。

同じように10月に採取したプルトリウム分析結果を報告する。同じ箇所である。1、2号機については検出限界以下であったが、3号機 R/B 上部は 28 mBq/m<sup>3</sup> であった。これは、濃度について5桁低い値。3号機だけ検出されているが、放出口付近で検出しているので検出されやすい。

(本店広報班) 11時と18時に定例会見があり、14時に事故調査報告書の中間報告があるとのことで公表した。11時の会見は短時間で終わっているが、主に2号機の RPV への窒素封入、2-2の起動関連について質問を受けている。また、吉田所長入院と被ばく関係は無いと伝えた。事故調査報告書については、質問は広範囲に渡り、テイソウ津浪の反映をしないのか、水素爆発についてなど主要なテーマについて質問があり大分長引いた。18時からの会見で続きの質問がくると予想される。また、ダストサンプリングの話について説明する予定。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/3(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (小森安定化センター所長)本日は、資源エネルギー庁から26名の方がお見えになって、対応いたしましたので、Jビレッジから司会します。本日は、雨が強かったです。今はやみつつあります。雨のため一部作業を延期したのものもあるようですが、仕事そのものは全体的には進捗したということです。今日の夜から電源停止も予定されています。

(1F ユニット所長)発電所の方は、気温は昨日より高めでしたが、雨。今はやんでおりますが、雨のち曇りという状況でした。傷病者の発生は有りませんでした。プラントパラメータは安定して推移しています。本日雨と言うことで屋外作業は、休工も一部有り、様子を見ながら進めたものもありました。

(1F 発電班)1号機は、給水系から 4.4 m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 底部ヘッド温度は 45.1℃、D/W 内温度は 47.7℃、D/W 圧力は 16kPa<sub>gage</sub>、窒素ガス注入の影響と見られますが、D/W の圧力がゆっくり上昇しています。SFP 水温度は 15℃です。2号機は、CS 系から 4.3<sup>3</sup>/h、給水系から 3.1m<sup>3</sup>/h、あわせて 7.4m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 下部ヘッド上部温度は 70.6℃、D/W 内温度は 77.9℃、D/W 圧力は 14.2kPa<sub>gage</sub> です。こちらもゆっくり上昇しています。PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.5%です。SFP 水温度は 25℃です。昨日、SFP 代替冷却を起動しまして、温度低下を確認しています。3号機は、CS 系から 6.1m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.0m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.1m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 68.0℃、D/W 内温度は 60.9℃、D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 18℃です。4号機の SFP 水温度は 22℃、共用プール水温度は 21℃です。

(1F5, 6号発電班)5号機は本日も取水路の清掃のため、海水系ポンプを約11時間停止している。炉水温度の最高到達温度は38.2℃、プール水温度は24.4℃であったため、前日とほぼ同じ程度の上昇であった。

(1F1~4, 5・6号復旧班)水移送は、継続。滞留水処理は、電源停止で、キュリオン、RO、蒸発濃縮が停止してしまして、現在いずれも運転しています。キュリオンは、8:30~14:22停止。サリーは運転継続です。17時現在、サリーが 28.6m<sup>3</sup>/h、キュリオンが 17.2m<sup>3</sup>/h で処理中です。ROも運転しています。蒸発濃縮装置3Aは、14:34以降起動に入っています。本日Hベッセル2塔、AGHベッセル1塔の切替と交換を実施しています。水位は、2号機は今朝に比べまして 1~2mm 程下降してまして、T/B で OP2945mm です。3号機は 3~5mm 上昇で、トレンチの水位 OP3186mm という状況です。4号機は T/B で5mm 下降の OP2956mm です。1号機は R/B は、雨の影響で、35mm 上昇の、OP3967mm、T/B 抜管エリアにて21mm 上昇で OP3466mm、の状態です。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は60mm 上昇で OP2395mm、HTI 建屋は23mm 下降で OP1587mm です。

本日、蒸発濃縮装置の M/C が予備変から所内共通 M/C に切替わっています。こ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

のあと19:00より予備変M/Cについて、大熊線2Lより、所内共通 M/C2Aに電源元を切り替えます。5、6号の方は、ひまわり散水・水移送、今日・明日ありません。

(1F 保安班)構内配電線の切り替えに伴いまして、全面マスクの省力化を18:40～21:00頃まで、一時中止します。また、MPの8番が、17:48より欠測しています。現在、原因調査中です。なお、RPVのN2注入の監視強化の一環としましてMP8番付近で平行測定をしています。そちらの指示値は、問題有りません。

(1F 土木班)タンク関係の作業は G・Hエリア継続です。本日は、雨の影響でほとんどの工事を中止としました。1～4号機の海側遮水壁の関連の作業について、準備工事としてボーリングを実施中です。5号機の補機ポンプ室内の清掃作業について、本日実施しており、明日も継続で実施します。

(1F 建築班)本日の作業は、雨と言うこともあり、ガラスの撤去のみとなっています。3号機はT/B屋上で継続しています。ダクト解体、ガラスの荷下ろし、地組ヤードでの架台、足場の組み立てを実施している。北側の構台ヤードでRw/Bに補機構台の荷揚げを実施しています。4号機ガラス撤去関係は、屋根の梁の鉄骨撤去を行った。これから、夜間にガレキの運搬・つり込みを行います。スラッジ貯槽関係は、本日中止。明日は、実施予定です。共用プール、66開閉所も本日・明日休工です。

(安定化 C) 報告ありません。

(本店広報班) 11時と18時に定例の会見があり、11時は特段大きなやりとりはありませんでした。説明内容は、キュリオンのベッセルをAGHからKHに変更する内容です。また、予備変圧器の電源切り替えで、各電源停止の内容です。18時につきましては、シリーズ広報企画ということで、発電所内の放射線モニタリングについて、地震発生当初からいままでの濃度の変遷を説明しています。その中で、いままで、データを出していない、建屋内の放射能濃度ということで、各建屋の線量を図で示したものを紹介しています。免震重要棟の線量の変遷も説明しています。

(福島支援室) 明日の作業を確認させてください。明日は、5号取水路の清掃は実施予定ですか。

(1F) 実施予定です。

(小森安定化センター所長) 明日は、日曜日ということで、作業は少ないと思いますが、雨上がりということもありますし、気温もありますので、作業は安全に万全をつくしてもらいたいと思います。他無いようですので、全体会議を終わります。御安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/4(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C所長)12/4、日曜日の夜の全体会議を開催します。本日は作業的には少なめでした。また、天候は晴れでしたが、朝方かなり強風という状況です。トラブルとしては、今も、現在も対応中ですが、蒸発濃縮装置から水漏れがありまして、蛇腹ハウス内という蒸発濃縮装置を置いている小屋の中での漏洩ということで、11:38に発見したということですが、その後、その堰が系外、コンクリートのひびのところで水が外に出ていることが分かりまして、今、その対応を、土嚢を積む等の対応をしています。また、側溝から一般排水路側に漏れ出た可能性があるということでサンプリングをしている状況で、後ほどこの速報の状況については安定化Cから説明します。また、水処理関係では今後の水処理のトレンドについて説明します。窒素のRPV封入関係については現状についてと窒素の注入量についての計画について後ほど補足します。

(1F所長)プラント状況はRPV温度がかなり安定してきた状態。先程の蒸発濃縮装置で水漏れの件については、一般排水路と海水のサンプリングが終わったところで今、分析に回っている状況です。

(1F発電班)1号機は、給水系から4.2m<sup>3</sup>/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド温度は45.7℃、安定状態です。D/W内温度は48.1℃、D/W圧力は16kPa<sub>gage</sub>、SFP水温度は17℃です。2号機は、CS系から4.3m<sup>3</sup>/h、給水系から3.1m<sup>3</sup>/h、あわせて7.4m<sup>3</sup>/hで注水を行っています。RPV底部ヘッド上部温度は70.9℃、安定状態です。D/W内温度は78.3℃、D/W圧力は12.7kPa<sub>gage</sub>です。PCVガス管理システムで検知しています水素濃度は現在、0.5%で安定しています。SFP水温度は24℃です。なお、先般、SFPの冷却系において、系統の出入口の流量差が変動するというので現在も注視していますが、プールからくる流量に対してプールに戻る流量が10m<sup>3</sup>多く検出されている状態から3m<sup>3</sup>/h少なく検出されている状態ということで、流量の差流量が蛇行している状態が継続していますので、今後も注意をしていきます。3号機は、CS系から6.1m<sup>3</sup>/h、給水系から2.0m<sup>3</sup>/h、あわせて8.1m<sup>3</sup>/hで注水です。RPV下部ヘッド温度は67.9℃、安定状態です。D/W内温度は60.9℃、D/W圧力は0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP水温度は19℃です。4号機のSFP水温度は26℃、共用プールのプール水温度は24℃です。5号機は本日も予定通り、海水の取水ポンプ室の清掃のため、朝7時前に関連ポンプを停止しました。復旧については、ポンプ再起動を17:27から17:49にかけて再起動が終了して原子炉とプールの冷却が再開されました。起動時は、原子炉水温度は38.9℃、プール水温度は24.5℃でした。今後、温度の低下を確認していきます。6号機は原子炉、プール冷却、順調に行われています。

(1F1～4号復旧班)水移送関係は、2号機はHTI建屋へ、3号機はプロセス建屋へ移送を継続しています。明日、3号機は全体の水バランスの関係からプロセス建屋

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

への移送を停止する予定です。水位関係は、1号機は、T/B 抜管エリアは 15mm の上昇です。1号機の R/B 水位は、若干上昇傾向が見られていますが、雨の影響と思われるかもしれませんが、若干なまってきた状況です。引き続き注視します。2号機は 6～9mm 下降で、OP2935mm です。3号機は 4mm の下降で、OP2922mm、4号機は 1mm の上昇です。この点、注視していきます。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は 14mm 上昇で OP2433mm、HTI 建屋は 22mm 下降で OP1518mm で、ほぼシミュレーション通りの水位です。滞留水処理は、KURION、SARRY とともに順調に稼働しています。KURION が 17m<sup>3</sup>/h、SARRY が 28.5m<sup>3</sup>/h、順調です。明日、ベッセルの交換はありません。明日は月曜日ということで、また、通常の作業に戻ります。明日の主な作業としましては、1号、3号の RPV の N2 封入で 10Nm<sup>3</sup>/h に変更予定です。本日、4号機の SFP のイオン交換装置についてはインサービスを実施しています。その他、電源関係ですが、予備電源、変電所の CT 取替え作業が終わりまして、明日負荷を活かす予定です。

(1F5,6 号復旧班)滞留水散水、ひまわりですが、本日ありませんでした。滞留水の移送もありません。明日は、ひまわりですが、発電所の南側、A,B エリア、野球場と展望台付近です。明日の10時から12/6の16時、約30時間ですが、6号機の T/B 地下から仮設タンクへの移送があります。

(1F 土木班)本日、日曜ということで、殆どの工事は休工です。1件のみ実施しました。実施した工事は5号機のポンプ室内の清掃で、これについては計画通り終了しました。明日は、通常通りに戻りまして、主な作業としましては、まず汚染水処理のためのタンクの設置がありまして、G・Hエリア継続実施です。1～4号機の遮水壁の設置工事で、準備工事として掘進のためのボーリングを継続実施します。5、6号機の補機取水路ポンプ室の清掃作業としまして、本日に引き続き5号機のポンプ室内の清掃を実施するという予定です。

(1F 建築班)本日は定例のサブドレン計測の他、スラッジ貯槽設置等の建築工事のみとなっています。スラッジ棟で床塗装、PC 壁の天板の左官補修等の仕上げ工事、設備棟で明日予定されていますボンベ庫のユニッハウスの設置用床のすみだし、ベースモルタル、通常夜間行われていますガレキ運搬については本日は休工です。

(安定化 C 所長)蒸発濃縮装置の蛇腹ハウス内での漏洩の今の状況について報告します。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書面で説明) 事象の概要です。本日、協力企業の作業員がパトロール中に蛇腹ハウステント内の堰の中に約 5cm の水が溜っていることを 11:33 に確認しまして、11:52 に装置を停止したと。14:30 に堰のひび割れ部から側溝に水が漏れでていることを確認したということで、推定漏洩量 45ton と書いていますが、これは堰の中に溜っている水の量が 45ton という事です。表面線量ですが、 $\gamma$  線で 1.8mSv/h、 $\beta$  線で 110mSv/h ということで、原因については今確認中です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

対応ですが、コンクリート漏洩箇所については土嚢で囲って、ハウス内に滞留している水については現在、ポンプを手配してこの後抜き出しを行う予定です。概略の系統ですが、水処理で RO でできた水を、廃液の方を、蒸発濃縮装置で処理をするということで装置が構成されていますが、今回、堰に水が溜ってしまっていたのが、この 3A,B,C と書いた蒸発濃縮装置です。それで、漏洩の状況ですが、こちらが蒸発濃縮装置が設置されているエリアです。オレンジ色のラインに装置が入っていると考えていただいて、その状況がこちらの写真で、コンクリートの四隅を L 字構で堰を設けていまして、その中に水が 5cm くらい、トータルで 45ton くらい溜っているという状況でした。この堰の廻りを確認したところ、コンクリートの割れ等からしみ出ている箇所が何箇所もありまして、こちらの部分、罰点で書いた部分が、青い点線で書いたところが U 字構になっていまして、その脇を交差するようにして一般排水路がありまして U 字構の方に水が流れ出ていることが確認されています。こちらからここまでの距離は 10m ほどで、こちらに対してはこちらの写真にあるように土嚢を積むとともに吸湿剤の中に入れて漏洩の拡大防止を図っている状況です。蛇腹ハウスの中に蒸発濃縮装置が入っていますが、コンクリート基礎の上に乗っかっていますので、多少しみがあるようなところ、濡れているところにも土嚢を巻いて設置している状況で土嚢の設置箇所として、今こちら面をぐるりと廻すようにして土嚢を設置している状況です。こちらに溜っている水については水中ポンプを入れて中の溜った水を掃き出すということで、タンクに移送をするということで、今作業準備をかけている状況です。現場の状況は以上です。

(安定化 C 所長) ポンプで汲み出すのは夜間であるということで今準備中でよいですか。

(安定化 C 水処理 PJ 部) そのとおりです。

(安定化 C 所長) 排出するところをどうするかは悩ましいですが、現状はどのように考えていますか。

(安定化 C 水処理 PJ 部)

今そちらを検討していますが実際には濃度は高レベルではないので RO の入口側に入れてそのまま処理できるかどうかを今検討しています。パワープロペスターというトラックを用意しましてその中に入れることと、仮設のプールを用意していますのでそちらに貯めることも考えています。

(安定化 C 所長) 夜間作業になりますので気をつけていただくことと、被ばくとしては  $\beta$  核種もあることなので要注意ということで、引き続き慎重に作業を進めてください。

(本店広報班) 今のお話しですと、漏れ出ていたところは 1 箇所、他にしみがあったという理解でよろしいですか。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) こどもそうですし、こちらの方も滲んでいるところがありますので、漏出箇所としては数カ所になります。この罰点で書いてあるところがこの箇所になります。それから、奥のこの部分に今、土嚢を積んでいます。あと、

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

こちら側にも濡れている面がありますので、何方所か漏出箇所がありますが、メインででている箇所はこの部分です。

(本店広報班) そのこの1箇所ですね。土嚢を積んでいるということですが、側溝に向かって流れ出た量というのはまだ確認できていないということですか。

(安定化 C 水処理 PJ 部) 今、そちらの方は評価中です。

(本店広報班) 側溝の方ですが、現在、測定しているという発話がありましたが、その結果がでるのはいつ頃でしょうか。

(1F 保安班) あと2~3時間で結果がでると思います。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 説明するのを忘れていましたが、この部分が U 字溝になっていまして、この O の部分は追加で U 字溝の中に土嚢を入れて水の流れを止めるように作業を行っています。

(本店広報班) 側溝はどこかで止水をする、止める、そういう防止策は講じる予定ですか。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) この部分で側溝の中に土嚢を、U 字溝の中に土嚢を積んで水の流れを止めるようにしてあります。

(安定化 C 所長) それは既に実施済みでよろしいですか。

(安定化 C 水処理 PJ 部) はい。

(安定化 C 所長) よろしいでしょうか？ 広報さんの方は。

(本店広報班) ありがとうございます。

(原子力安全・保安院) 側溝のところ、どの地点で今サンプリングされたのでしょうか？ その地図上のどこでしょうか？

(1F 復旧班) (書画で説明) サンプリング箇所ですが、ここです。ここの指先で説明しているこの部分からサンプリングを行っています。

(安定化 C 所長) 一箇所サンプリングということですか。橋の下のところ。

(1F 保安班) 排水溝についてはその一箇所と、あと、南放水口のところでもサンプリングはしています。合計2箇所になります。

(原子力安全・保安院) 追加の質問ですが、橋の下のサンプリング箇所は水が流れているのでしょうか？

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 流れています。正確に言いますと、橋の下のこの部分はいわゆる一般排水溝で、もっと別のエリアから水が流れているということになりまして、ここの全面のところの点線は蒸発濃縮装置からでてきた水が入る、今回流れ込んでしまっている U 字溝になります。

(本店官庁連絡班) このマップから見ると、漏出の側溝の配置は、B エリア、C エリア近傍だけしか記載がありませんが、実際、海への距離はどの程度なのでしょうか。概算でよろしいので教えていただきたいのですが。実際に放水されるところまでの距離感が掴めませんが。

(1F 土木班) 当該箇所から海までの距離ですが、大体1km 弱くらいあるのではない

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

かと。500m～600m ですかね。500m～600m 位だと思います。今確認しています。確認しまして 500m～600m だそうです。

(安定化 C 所長)後ほどまた補足等、質問がありましたら別途連絡を取り合うということで、あるいはこの全体会議後の TV の発話で確認していただくということでよろしいでしょうか。それでは、水処理関係についてはもう一つ、水位シミュレーションについて、停止も含めて水位シミュレーションの状況について報告します。

(安定化 C 滞留水移送 G) (書画で説明)シミュレーション用いて今後の操作について説明します。これはいつも説明していますシミュレーションですが、緑が2号の T/B、青が3号の T/B、赤がプロセス建屋、オレンジが HTI 建屋で、上が流し手、下が受け手ということです。現在の水位ですが、T/B はおよそ 2950、2号、3号とも 2950 になっています。今後の操作になります。明日、3号の T/B から現在プロセス建屋に送っていますが、その移送を停止します。これは水位がおおよそ 2950 になって低下してきたということで、一旦停止をします。その後、11/21から24日に3号の CST から3号 T/B に3号の CST の滞留水をブローしましたが、残りの残水並びに塩分がある程度含まれていますので、その希釈という意味で12/6と12/8に3号の CST から3号の T/B に残りの水をブローします。その後、水位が3号が上がってきまして、12/13、14で電源停止があります。この後、電源停止が終わった15日を目処に再度、移送を再開する予定です。2号は現在移送中で、今度の金曜日から日曜日にかけて1号の T/B から2号の T/B への移送を行います。その後、電源停止に伴いまして12日～15日にかけて2号の T/B の移送を停止しまして、再度、停止後、移送を再開ということになります。HTI 建屋は、今現在、2号から HTI 建屋に送る移送ラインになっていますが、電源停止のとき、処理してしまうと急激に処理量が多く、移送がなく処理をしてしまうと水位が低下してしまいますので、一旦電源停止に合わせて HTI の SARRY の運転も停止するというので今後の移送を行う予定です。

(安定化 C 所長)停止関係もありますし、雨水関係の話もよく見ながらレベルは引き続き継続監視でお願いします。もう一つ、RPV への窒素注入を3ユニットやっています、その状況についての現状、窒素量の変化についての計画を報告します。

(安定化 C 安全評価 G) (書画で説明)まず、窒素封入をした RPV の温度の推移ですが、これが1号です。このラインで窒素封入を活かしました。その後、各部の RPV の温度は窒素封入に合わせて低下をしていますが、その後、その効果で薄まり徐々に上昇傾向が続いている状況です。こちらが2号の RPV の温度挙動になります。1号ほどははっきりはしていませんが、ここまで上がり傾向できていました RPV の温度、例えば、給水ノズルとか胴フランジ温度といったところが、上り調子できていたものが窒素封入を始めた段階で横になって、下がっているとまではなかなか言いづらいですが、上がり傾向がなくなって横向きになったということで、RPV の中に窒素が入って温度が上がり止まっている状況ではないかと思えます。これは2号機のガス管理システムによって観測されている水素濃度ですが、こちらを見ていただければ分かり

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ますように、今月頭に RPV に 5m<sup>3</sup> 入れ始めて、その後、増やして 10m<sup>3</sup> にしています。それに合わせてガス管理システムで抜く流量も 23 から 34 に、その後 34 から 39 にしています。その結果、観測されている水素濃度は 0.5~0.6 といったところで安定している状態になっています。3号機の RPV の温度挙動ですが、こちらもこのラインで窒素封入を開始しましたが、上蓋フランジとかベローといったところが、窒素封入に応じて反応し若干低下している状況で、RPV の中に窒素が入っているものと考えています。また、今回グラフで示していませんが、窒素封入に関連してモニタリングポストの監視の強化を行っています。その状況は特に変化はなしということで、押し出されて環境へのインパクトはなかったと思っています。以上、取り纏めますと、2号機についてはスタッドボルトとか、胴フランジ、給水ノズルといったところが下降傾向になっていて水素濃度も若干低下傾向を示しているということから RPV への窒素がきちっと注入されているものと推測しています。また、2号機の水素濃度については、RPV への窒素封入後、低下傾向がありましたので、RPV 内の水素濃度は PCV と同程度であると推定しています。1号機、3号機については、先程お話ししたとおり、窒素封入後に温度の低下が見られていることから、きちっと入っているものと認識しています。以上のことから、1、3号機は特に窒素封入開始後パラメータに異常が見られませんので、12/5、明日ですが、計画通り窒素封入量を現在 5Nm<sup>3</sup>/h から 10Nm<sup>3</sup>/h に増加させようと考えています。また、RPV への窒素封入に先立って1、3号の炉注水量も若干減らして温度を上昇させていますが、これについては1号3号の窒素封入量を増やしてまたパラメータが安定するまであと5日くらいを考えていますが、現状維持で監視を継続していきたいと考えています。

(安定化 C 所長) 明日まず窒素の封入を1、3号機増やすということと、炉注は今温度は安定気味ですが、これ以上窒素で置換されるということで注水量を戻すかどうかは今週様子を見て考えるということで、明日の窒素の注入の段取りについては現場とよく相談をしてタイミングを図ってもらいたいと思います。いろいろと蒸発濃縮装置の件ではお騒がせしていますが、今まだ対応中でありまして、また、水を抜いてから漏洩箇所の特定をやらなければなりませんので、しっかりと対応していきたいと思っています。

(本店広報班) 本日のプレス対応状況をお知らせします。本日は日曜日ですので、午前中の会見は事務方のブリーフィングということでした。プラント状況について冒頭でお知らせしまして、質疑応答無しということで、参加した記者さん10名、(聞き取れず)が3名という状況です。11:08に終了しています。先程来お話しがありました、蒸発濃縮装置の漏水については16:45に中央の記者、福島の方々に一斉メールで情報を提供しています。なお、18時から松本本部長代理によります会見でこの案件について説明している状況です。

(安定化 C 所長) 先程の濃縮装置からの対応作業については現在も進行形ですので、これは全体会議後も適宜状況については発話していただいて情報共有をして

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いただきたいと思います。統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/5(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■) 本日天候は晴れ、気温は9度でした。現場では全面的に作業が展開されました。特段のトラブルもなく、順調に作業が進められました。また、昨日水処理装置の淡水化装置であります蒸発濃縮装置から放射能を含んだ水が漏れるという事象がありましたが、本日、現場調査・復旧作業が展開されております。この点は後ほど報告いたします。

(1F 所長) 今日には多くの作業を開始したが、人身災害はありませんでした。今日のトピカルなことは、6月から開始しております低中濃度の処理水を入れるタンク、Hエリアの14万m<sup>3</sup>、390機について組立を完了、水張りも完了したこと。また、炉注ポンプのベアリングの整備を本日も行っております。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から 4.5m<sup>3</sup>/h で注水を行っております。RPV 底部ヘッド温度は 45.6℃、安定状態です。D/W 内温度は 48.1℃となっております。RPV の N2 封入からゆっくりした上昇傾向を示しております。D/W 圧力は 14kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 17℃です。2号機は、CS 系から 4.3m<sup>3</sup>/h、給水系から 3.0m<sup>3</sup>/h、あわせて 7.3m<sup>3</sup>/h で注水を行っております。RPV 底部ヘッド上部温度は 70.8℃、D/W 内温度は 79.7℃、D/W 圧力は 12.0kPa<sub>gage</sub> でほぼ一定で推移しております。PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.5%、SFP 水温度は 21℃です。なお、SFP の冷却系出入口の差流量の変化ですが、現在は出口流量が入口側に対しまして、若干のマイナスからプラス9m<sup>3</sup>/h程度の範囲で変動しております。こちらについてはデータを採取して監視を継続してまいります。3号機は、CS 系から 6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.2m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.2m<sup>3</sup>/h で注水です。RPV 下部ヘッド温度は 67.7℃、D/W 内温度は 61.0℃、D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 18℃です。

なお、1、3号機は本日午前中に RPV への N2 封入量を5から10Nm<sup>3</sup>/hに増加側に調整を実施しております。4号機の SFP 水温度は 26℃、共用プールのプール水温度は 24℃です。5号機は本日も予定通り、取水路ポンプ室の清掃のため、朝7時前に関連ポンプ類を停止しました。復旧については、17:15から17:36にかけて関連ポンプの再起動が終了して原子炉とプールの冷却が再開しております。起動時は、原子炉水温度は 38.2℃、プール水温度は 24.4℃でした。今後、温度の低下を確認していきます。取水路ポンプ室の清掃自体は本日で終了しておりますが、明日水中カメラで清掃後の状況を確認しますので、本日と同様に海水系ポンプの停止操作を予定しております。

6号機は海水温度が11.5度で、原子炉、プール冷却は順調に行われています。

(1F1～4 号復旧班) 本日の実績としまして、1号機及び3号機の炉注量をしております。また、1号機と3号機のRPV N2封入量を変更しております。炉注水の軸受けの油に水の混入が確認されました。本日6台の油の交換を実施しております。水移送関係は、2号機は HTI 建屋へ移送を継続しております。3号機はプロセス建屋へ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

移送を継続しておりましたが、全体の水バランスの関係から本日停止しております。水位関係は、1号機は、T/B 抜管エリアは 14mm の上昇です。1号機の R/B 水位は若干上昇傾向が見られましたが、本日は低下しております。引き続き注視してまいります。2号機は 8mm の下降で、T/B で OP2915 です。3号機は 13mm の上昇で、OP2926、4号機は 7mm の下降です。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は 20mm 下降で OP2437、HTI 建屋は 22mm 下降で OP1449 で、ほぼシミュレーション通りの水位です。

明日の予定ですが、3号機 CST 残水のブローを明日から約10日間かけて実施します。2号機SFPの放射能除去装置についてはセシウムが10の5乗から10の2乗に下がったことから停止をしております。その他、1～3号機PCVガス管理システムの作業は継続となります。滞留水処理装置関係では、HベッセルとAGHベッセルの交換があります。

(1F5,6 号復旧班)滞留水関係ですが、ひまわりによる散水、本日は A,B エリア、発電所の野球場と展望台付近を散水しました。9:10～10:55 79m<sup>3</sup>です。6号機の T/B 地下から仮設タンクへの水移送を10時から開始しました。明日12/6の16時まで実施する予定です。それから明日の作業ですが、ひまわり散水はCエリア西門企業棟付近を実施いたします。本日5号機の取水路清掃を終わりましたので、明日取水路の中をカメラにて確認する予定です。

(1F 土木班)タンク関係ではGエリアで排水の関係工事、Hエリアでは14万m<sup>3</sup>、390機のタンク組立を完了、水張り作業まで終了しております。1～4号機の遮水壁の設置工事で、ボーリング作業を継続しております。5号機の補機ポンプ室の清掃作業につきましては、先週の月曜日から開始しておりまして本日終了しました。その他、受変電設備の設置工事、GISTランスの基礎工事を継続で実施しております。

(1F 建築班)3号機のがれき撤去ですが、本日RW/B上部のがれきの解体、地組ヤードで足場架台の組立、西側ヤードで冷却ユニットの養生等を行っておりまして、明日はT/B屋上でチラーの解体・荷下ろし、地組ヤードで・・・建屋の解体を行います。4号機R/Bがれき撤去では、屋根の鉄骨張りの撤去を継続実施、がれき運搬の方は、日中作業で56号機の東側道路の段差部の補修を行っておりまして、夜間作業で34号機の運搬を行っております。明日も継続となります。スラッジ貯蔵施設はタンク基礎のグラウト、PC 壁の目利シール、ボンベ庫・・・を行っており、明日も継続です。受変電設備設置工事については、本日型枠の解体、明日は基礎ハイキンをを行います。

(安定化 C ■■■■■)若干補足説明を行います。昨日の蒸発凝縮装置からの水漏れのパフォーアップ、本日状況をいたします。

(安定化C)(書面説明)蒸発凝縮装置 3A からの水漏れを昨日確認しました。側溝のたまり水等々対応しておりますのでご説明いたします。

作業状況としましては、側溝に土嚢を積みまして、系外への流出がないように止め

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

であったのでRO装置の廃液供給側に戻して、再度処理に入ります。それから、他の設備 RO ユニット2, 3と蒸発濃縮装置1, 2、それぞれ別の建屋(ハウス)に入っているの、そちらの堰の確認を実施しております。全体的にはコーキングされており問題無かったのですが、コーキングが古くなっているもの、コンクリート部に若干のひびがあるものもありましたので、至急に手直しをすることとしている。本日はコーキングの仕上げを完了しております。漏洩箇所の現場確認ですが、大体どこから漏れたかは把握できており、明日以降ですがろ過水を通水してみて漏洩が発生するかどうか調査・検討を進めてまいりたい。

漏れた箇所と思われるところは、熱交換器(フラットプレート型)出口の接続部から水漏れが発生したのではと想定しております。

明日以降、現場の確認含めて、対応してまいりたい。

漏洩量について(書面説明)こちらがコンクリートひび割れの部分です。目測ですが1リッター/分の漏洩量と思われます。昨日現場で堰の中に確認したときは、水漏れは確認できなかったが、それ以降にコンクリートのひび割れ部分から漏れ出ただろうと考えております。実際に土嚢を積み終わったのが15:30頃、保守的に見て4時間ぐらいの間漏れていたのだろうと考えますと、300リットルぐらい漏れただろうと分析しております。

補足説明 評価上は4時間で300リットル漏れ出たと評価している。しかしながら、蛇腹ハウス全面の水たまりとして拡がりつつ、側溝の方に流れ落ちているものと考えられ、300リットル全量が流れ落ちたものではないというふうに考えております。サンプリングデータ、漏洩状況等、現場状況を踏まえてどの程度の量が側溝に漏れたのか分析していくことを考えております。蛇腹ハウスは30m四方で、昨日たまり水は45<sup>cm</sup>と報告しておりますが、実際には床に勾配が付けてあり、真ん中が若干高くなっていて、その外周が水の深さ(5cm)を測っております、床の勾配を考えると15~20<sup>cm</sup>が溜まっていたというふうに考えております。

(安定化C)今回、一つの反省点として、漏洩が生じてから、堰が一杯(満杯の意味ではない)になるまで気付くのに時間がかかった。再発防止対策の検討状況を報告して下さい。

(安定化C)今回の反省点を踏まえて、類似箇所の点検を始めました。それから漏洩検知器の設置等を検討・設置していく。パトロールにつきましても強化してまいりたいと考えております。

(保安院 山本)今回の放射性物質を含んだ水を系外に漏出したことに関し、保安院の方から東京電力に対しまして指示をいたしますけれども、次の対策を実施していただくことを強く願います。

1点目は、今回水漏れの原因を究明して、再発防止対策を講ずること。これは当然であります。それから、2点目、堰からの漏洩、コンクリートひびからの漏洩があったということで、他の堰の健全性を確認すること。対策としてパトロールの強化とありましたが、巡視点検を強化するなど、漏洩検出器を設置するなど堰からの漏洩防止対

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

策を対応の計画をして実施していただきたい。

3点目は今回の漏洩について、海に出て行ったことは否定できないこともあるので、漏洩量等を評価して、周辺環境への影響評価、特にストロンチウムが高濃度含まれている可能性がある、この影響評価をしっかりと実施していただきたい。

これ3点については、速やかに対応して保安院にも速やかに報告すること。

これらについては、別途文書による指示をするので速やかな的確な対応をお願いしたい。

(安定化C [REDACTED]) 次の報告をします。3号機のCSTの水を再移送する件について報告します。

(安定化C) 3号機CST水の再移送(書画説明)

3号機CSTからの炉注水ラインを構築するということで、施工上の一貫で先月の21日から滞留水を3号機T/B地下に移送しておりますが、CSTの残水が200ト、ありますが、こちらの塩分濃度が10000ppmで高いことがわかった。そのため、この残水を希釈するため、3号機T/Bへの再移送を行いたいと考えております。

再移送後、CSTに処理水の水張りを行って、塩分濃度を100ppm以下にしたい。明日から、希釈再移送を行い、来週12日の週に処理水の水張りを行うことを計画しております。実施内容としましては、残水200トを3号機T/B地下へできるだけ送ってしまう。その後、CSTへの給水を行いまして希釈を行う。ということで、この希釈された水をさらに3号機T/B地下に再移送する。おそらく、移送したあとの残水は30数ト、残ると思いますが、これをやることによって、CSTに水張りをやった時点で100ppm以下になるのではないかと想定しております。また、希釈後の再移送水の塩分濃度によっては、さらに希釈等の検討を行うことを考えております。計画移送量ですが、CSTには残水200トありまして、希釈のために350トくらい入れますので、550トを想定しております。なお、移送後のCSTへの水張りは1000トくらいと考えておりますが、作業状況で若干修正したいと思っております。

(安定化C [REDACTED]) あと2点ほど報告があります。SFP放射能濃度が目標値に到達しましたので、その成果を報告していただきます。

(安定化C) 2号機のSFP放射能除去を11/5から開始しておりましたが、約1ヶ月間浄化工程を経まして、当初より放射能濃度(2乗オーダー?)低下しましたので、本日、放射能除去の工程は終了しました。次の工程は塩分除去に入ります。また、このあと3号機に移動して、3号機の放射能除去に入ります。

(安定化C [REDACTED]) もう一点報告です。2号機のブローアウトパネルから原子炉建屋の放射能濃度測定結果の報告、合わせまして1号機のデータも報告します。

(環境影響評価) 2号機ブローアウト、1号機のデータ(書画説明)

1号機 ダスト採取用配管からダスト採取した結果を報告します。

12/2採取 セシウム134、137が検出されております。マイナス5乗Bq/cm<sup>3</sup>低いオーダーで検出されております。今後カバーの空気量漏洩率を評価してこの2つ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

の積から放出量を評価してまいりたい。

2号機ブローアウトパネル、PCVガス管理システムに設置されているフィルタ入口・出口計3カ所を測定した結果を報告します。12/2の結果ですが、セシウム134, 137がブローアウトパネル中央部分、下の部分を測定した結果、マイナス5乗Bq/cm<sup>3</sup>で、前回と比べてやや高めですが、放出放射エネルギーは前回と同様となっております。PCVガス管理システムのフィルタ入口では1~2Bq/cm<sup>3</sup>ですが、出口ではマイナス5乗Bq/cm<sup>3</sup>でよく除去できております。それを希ガス関係ですが、クリプトン85が21Bq/cm<sup>3</sup>出ておりますが、PCVガス管理システム運用開始から40分の1程度の値になっております。明日2号機でも同様の測定(2回目)を実施します。

(本店広報班)今日の広報対応を報告いたします。

午前中は11時、午後16時30分から実施しております。午前中は蒸発凝縮装置からの漏洩について図面等を用いて説明しております。これは夜一斉メールをマスコミ各社に送っております。質問内容は、放出量、放出場所、放出の経緯、海への放出について聞かれており、海への放出については調査中ということで名言しておりません。午後にも漏洩関係の質問を多く受けている。当社から環境モニタリング、PCVガスサンプリングの分析結果を説明する予定になっております。

(OFC 平岡)警戒区域への住民の方の一時立入ですが9/19からマイカーによる一時立入ということでやってまいりましたが、昨日12/4に終了しました。これは2巡目ということで約21000世帯5万名の一時立入を終了しました。12/7から年末にかけて自家用車の持ち出しのオペレーションを行おうと思っております。3巡目についてはこれから調整していきたいと考えております。

(2F)明日2号機でRHRポンプの定例切替(A→B)を行います。切り替えに伴い、RHR系全停が発生します。予定では14時から最大1時間程度です。原子炉水温度の上昇は最大2.5℃程度を想定しております。現時点で2号機の原子炉の水温は26.8℃ですので、30度程度と予想しております。

(安定化C■■■■)全体会議を終了します。ご安全に。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/6(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C █████) 本日天候は曇り、12月に入り寒い日が続いております。作業は概ね順調に進捗しておりますが、残念なことに交通事故がありました。後ほど1Fから報告があると思います。

(1F・所長) 本日作業は多かったが順調に終わっています。トピックスとしては、海水ポンプ取水路清掃を昨日で終わり、本日確認をしております。おおよそ22m<sup>3</sup>の土砂を除去できているということ。MP8が復帰しております。交通事故の件ですが、2F入口で自損事故ですが、運転操作を誤って4名乗車して2名負傷、軽傷ということでした。牛一頭衝突した件で運転手の方はご無事でしたが、車が炎上したということでした。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から4.4m<sup>3</sup>/hで注水を行っています。RPV 底部ヘッド温度は45.3℃、D/W内温度は47.8℃となっております、ほぼ一定の値で落ち着いております。D/W 圧力は16kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は15.5℃です。2号機は、CS系から4.1m<sup>3</sup>/h、給水系から3.0m<sup>3</sup>/h、あわせて7.1m<sup>3</sup>/hで注水を行っています。RPV 底部ヘッド上部温度は71.1℃、D/W 内温度が82.9℃でこちらもほぼ一定の値で安定しております。D/W 圧力は12.6kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.5%、SFP 水温度は19℃です。なお、SFP 冷却系出入口の差流量の変化ですが、出口流量が入口側に対しまして、マイナス側で6m<sup>3</sup>/h、プラス10m<sup>3</sup>/h程度の範囲で変動しております。こちらについては今後もデータを採取して監視を継続してまいります。3号機は、CS系から6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から2.1m<sup>3</sup>/h、あわせて8.1m<sup>3</sup>/hで注水中です。RPV 下部ヘッド温度は67.6℃、D/W 内温度は60.9℃でこちらもほぼ一定の値で安定しております。D/W 圧力は0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は16℃です。4号機のSFP 水温度は24℃、共用プールのプール水温度は22℃です。5号機は、本日は取水路ポンプ室清掃後の水中カメラによる状況確認のため、朝7時前に関連ポンプ類を停止しておりますけれども、15時前には再起動して原子炉とプールの冷却を開始しております。現在炉水温度が28.8℃、プール温度が23.7℃となっております。なお、今回海水ポンプの対象としまして、DG-SW ポンプも不待機となることから5B-D/Gも不待機としておりました。その間計装品の点検を実施しまして、本日の最終復旧に合わせて、DG の確認運転をやる予定でしたが、アイソレ復旧の都合で明日に延期しております。

6号機については海水温度が11.4℃で、原子炉・プールは順調に冷却をしております。

(1F1～4号復旧班) 水移送関係ですが、2号機はHTI建屋へ移送を継続しております。3号機はプロセス建屋へ移送は停止中です。水位関係は、1号機は、T/B 抜管エリアは13mmの上昇です。2号機は8mmの下降し、T/BでOP2893です。3号機は14～22mmの上昇しOP2969、4号機は6mm上昇しOP1948です。受け入れ側集

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

中ラドは、プロセス建屋は 42mm 下降し OP2322、HTI 建屋は 17mm 下降し OP1386 で、ほぼシミュレーション通りの水位です。滞留水処理装置関係ですが、本日キュリオンの AGH ベッセル1塔、H ベッセル 2 塔の交換し、安定に稼働しております。サリーも流量28m<sup>3</sup>/hで安定に運転しております。

3号機の CST 残水処理については、11日までに排水と希釈を実施する予定です。本日は排水を実施中です。明日の予定ですが、N<sub>2</sub>ガスを10から15Nm<sup>3</sup>/hに上昇する予定です。詳細は安定化Cから話しがあります。その他蒸発濃縮装置関係ですが、先日3Aで水漏れにより停止中ですが、1B、1Cの起動をする予定しております。その他4号機SFPのイオン交換装置については、樹脂層交換の後停止する予定です。本日交通事故がありました。1F側の交通事故としましては、1Fで作業を終えた方がJビレッジに帰る途中に2Fの入口付近のところで南に向かって上り坂で脇見運転をして左側の法面に乗り上げて、横転をしたということでした。1BOXカーに4名乗車していて、2名が負傷、うち1名は軽傷で、もう1名は軽傷だと思われませんが現在も磐城共立病院で診断中ということです。

(1F5,6号復旧班)滞留水関係ですが、本日ひまわりによる散水を行いました。Cエリア西門企業棟9:10~10:55 78m<sup>3</sup>散水しました。6号機T/B地下から仮設タンクへの水移送ですが、昨日10時から本日16時まで実施しました。明日はひまわりによる散水はDエリア北門付近を散水予定です。滞留水の移送予定はありません。

(1F 土木班)タンク関係ではGエリアで排水関係の工事、Hエリアでは機材の片づけ、ヤード整備を行っております。海側遮水壁の関連ではボーリング作業を実施しておりますが、構内側遮水壁関連としては全部で5本計画のボーリングで、4本目のボーリングマシンの設置が完了しましたので、明日からボーリングの掘進を予定しております。構外側の遮水壁関係については全部で3本のうち2本完了して、2本目の機材の後かたづけを実施しております。5号機のポンプ室の清掃については、昨日終了して本日確認が終わりました。明日機材の片づけを行う予定としております。昨日の蒸発濃縮装置からの水漏れに関して基礎コンクリートの確認を実施しておりまして、一部若干ひび割れがあり本日よりひび割れの補修を3日間程度で行う予定です。

(1F 建築班)3号機のがれき撤去ですが、本日T/B屋上でダクト及び鉄骨架台の解体、荷下ろし、RW/Bで上部のがれき解体、地組ヤードで足場架台の組立、西側ヤードで冷却ユニットのベニア養生等を行いました。明日は継続作業の他、地組ヤードの・・・解体を行います。4号機のがれき撤去については、R/B屋根の鉄骨の解体を行っております。明日は継続作業と合わせて大型解体破碎機のブームの組み替えを行います。がれき運搬では、日中作業で56号機の東側道路の段差部の補修工事を行っておりまして、夜間作業で本日・明日とも34号機のがれきの運搬を行います。スラッジ貯蔵施設はタンク基礎のグラウト、ボンベ庫のユニット組み立てを行っており、明日も継続です。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化C■■■■)安定化Cから若干報告があります。最初に蒸発濃縮装置の水漏れのトラブルに関する調査結果、トラブルの対応状況について報告させていただきます。

(安定化C水処理PJ)(書面で説明)漏えい量(系外への漏えい量)の評価をまとめたので説明させていただきます。

蛇腹ハウスの横幅30m、側溝までの距離が10mありますので、水たまりが75ℓ溜まっていた。流出速度は現場確認した感覚では10秒で牛乳瓶1本、約1ℓ/分という状況。水の静水圧を考慮して、40mmスリットでは0.8ℓぐらいの流出がありうる。それから、実験を試みたのですが、幅2mm 20mmのスリットで水深5cm溜まっていたということでしたので、そこから流出する量は0.1ℓということ、厳しめに1分間に1ℓは出続けていた事象が起点となっているのではないかと、というふうに判断しました。放出量のトータルですが、11:30から土嚢を設置した15:30まで240分の間に排水溝にどれほど流れ出たのかを判断しました。その時に75ℓは溜まっていたので、排水溝には出ていない。それからU字溝への土嚢設置する時間が15:10に完了しております。残念ながら完了した15:10までの12:45から漏えいを確認して亀裂周りの土嚢を設置していきながらU字溝の土嚢設置まで、145分間は側溝部分は閉鎖ができなかったと考えております。その間、概ね145ℓは排水溝に流れ込んで、水と一緒に系外に出てしまったというふうに評価しております。従いまして約150ℓの漏えいがあったと評価しております。今のところ暫定結果ですが、β線源のストロンチウム、セシウムの濃度をかけ算をすると原子力発電所の年間排出管理目標値の12%ぐらいの量が系外に出たというふうに評価しております。漏えい箇所ですが、今のところ推定で明日以降メーカーさんと現場確認してまいりたいと思いますが、こちらが原液の予熱器がありまして、配管の接続部分の下部に水たまりできています。これが、ポンプでくみ上げた後に滴っていた状況でした。またこの上に足場がありますが、その足場にも水が吹き出ってしまった。辺り一面に塩が吹き出していた。接続部分を確認したところ、パッキンが変形していることが現状伺えますので、きちんと分析して分解評価していきたいと思っております。また、ろ過水等による通水確認もしてまいりたいと思っております。現場のβ線源がかなり広範囲に広がっておりますので、線量の管理をしながら被ばく管理をしながら進めたいと思っております。

それから保安院から至急その他の設備の堰の状況確認、必要があれば手直しということで指導されておりますが、12/5の時点でこれ以外のROの1A、2、3、隣の蒸発凝縮装置の1、2の各部屋を点検をしました。鋼板製のL字鋼の継ぎ目をコーキング処理しておりますが、一部古くなったり、人が通ってめくれているところにつきまして、修理手直し後にコーキング材で補修しております。それから、蛇腹ハウスの床に表面のひびがありましたので、エポキシ塗装による補修を行う予定です。

それから別な話ですが、保温材の施工状況ですが、淡水化装置から2km以上ホースを布設してありますが7割ぐらい完了しており、本日免震棟近くで施工しておりま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

す。その際、淡水化ホースにわずかに水が滴っていることが確認された。現在は補修済みとなっております。

(安定化C █████) 漏えい量の報告に関連して、これに伴う環境影響評価について報告します。

(環境影響評価) (書面説明) 今の漏えい水が海水中に拡散し、その中に生息する海産物を摂取した場合の年間の線量を算定しました。海産物があるエリアの濃度の評価ですが、漏えい時間の間に漏えいした水が拡散し、海水で希釈、継続時間が年間で評価するので、年間のその場所の平均濃度を出すことをまず行います。式としては、漏えい水の濃度に海水による希釈と漏えい継続時間による年間平均濃度を出すためのかけ算をしております。次に被ばく線量の評価ですが、海産物を摂取した場合の被ばく線量ですが、海産物毎の合計を求めております。評価の対象としましては、セシウム、ストロンチウムについて、これらの濃度12/4に採取した漏えい水の濃度から評価しております。年間実効線量としまして、セシウム134がマイナス6乗、ストロンチウム89が $1.7E-4$ 、ストロンチウム90が $3.5E-3mSv/年$ で合わせまして合計で $3.7E-3mSv/年$ というふうに評価しております。この数値は、自然界から受ける年間被ばく線量が $2.4mSv/h$ といわれておりますので、大体600分の1ぐらいというふうに評価できると考えております。これらは現時点で得られた放射性物質の濃度による暫定的なものとして評価したものです。

(安定化C █████) 環境に放射能を出したということは大変残念なことであり、しっかり要因を深く掘り下げて、再発防止に努めること。また、現場をしっかりと見てどういったところに漏えいのリスクがあるのか、現場を見て対策を確立してまいりたい。続きまして、RPV N2封入に関する経過と今後のオペレーションについて報告いたします。

(原子炉安全評価) RPVへの窒素封入の状況ですが、11/30には温度が下がり傾向、昨日流量を増やした時もRPV各部の温度が下がっており再現性がある。また、RPVに入っていることと考えております。2号機でもこれまで上昇傾向にあったものがおさまっているということで、RPVに入っていると判断しております。また、PCVガス管理システムの水素濃度については0.5%を維持しているので十分希釈できているというふうに考えております。

(話が違って) 本日バイアルでPCVのガスの放射能を評価しておりますが、これまでいろいろな核種が見つかっておりましたが、今回はセシウム含めて希ガスが全てNDになったということで、だんだんPCVもきれいになっていると思われま。3号機についても再現性のある挙動があったため、RPVの中に窒素が封入されていると考えております。

また、明日ですが、RPVへのN2封入量を10から $15Nm^3/h$ に増加するオペレーションをいたします。この理由ですが、N2封入が停してから水素4%に達する時間的な余裕を算出すると現在 $10Nm^3/h$ では1日弱ですが、この時間を少し延ばす

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

効果があります。その結果どうなるかという1号機で63時間、2・3号機で31時間・30時間ということで余裕が確保できるので明日流量増操作を行います。

また、PCVの水素濃度を4%未満に維持するために現在の水素発生量から評価すると1号機は5、2号機は7、3号機も7m<sup>3</sup>の窒素封入量が必要と考えられます。それに対して、30m<sup>3</sup>弱程度の流量ですので、時間的な余裕は11日以上。

このような状況を踏まえまして、2号機についてはPCVガス管理システムで水素濃度を監視できることから、水素濃度が2.5%にならないように監視しながらPCVへのガス封入量を減らす方向で考えております。

このようなことから、明日1、2、3号機のRPVへの量は増やしますが、2号機については現在26Nm<sup>3</sup>/hを10Nm<sup>3</sup>/h減らして16Nm<sup>3</sup>/hにするというオペレーションをします。これによる時間余裕11日から8日になるが十分余裕があると考えております。

(安定化C■■■■)明日からまた慎重に監視をしてみたいと思います。もう1件報告事項があります。これは来週の予定ですが、電源停止のお知らせです。

(施設基盤部)(書画説明)所内共通M/C 1Bを新規に設置をしております、これが今週9日に受電を迎えます。それに伴いまして来週、負荷である変圧器を3つ停止しまして、繋ぎ込みをやる予定です。12~14日にかけて電源停止があります。主な負荷ですが、12日はNo. 9の変圧器ということで1号機のN2供給装置、1号機のSFP冷却装置、1号機カバーリング空調、IAコンプレッサーのAということになりますが、それぞれ供給元を切り替えて供給できるということで、1号機のSFP冷却装置だけは供給できませんが、あとは電源切り替えが可能で停電なしで電源が供給されます。1号機のSFP冷却装置においては5時間程度の停電で約1℃の温度上昇が見込まれます。13日はNo. 16変圧器ですが、2号機のPCVガス管理装置が停止します。こちらは電源切り替えが大熊線3号から電源が切り替えられるということで無停電で問題ありません。2、3号機RW移送ポンプは停止します。

徐々に本設に切り替え、電気の信頼性をあげていきたいと考えております。また、重要免震棟についても2系統の受電ができるということで信頼が上がります。

(本店 広報班)プレスへの説明状況ですが、午前中は11時から、午後は6:30から当社単独の会見です。午前中は蒸発濃縮装置で水漏れの件で工程等についての質問がありました。短時間でやりとりが終わっています。

また、午後6:30からの会見ですが、漏水の評価結果について説明する予定です。

(安定化C■■■■)全体会議を終了します。ご安全に。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/7(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 7日水曜日の夜の統合本部全体会議を開催します。本日は非常に多くの作業が行われています。窒素関係は流量調整等いろいろ行われていますし、屋外の工事も進捗している状況です。本日、安定化 C 側からの報告事項がかなり多いので直ぐに発電所さん側の報告をお願いしたいと思いますが、ガス管理関係の話、水処理等についての補足を後ほど安定化 C から報告します。

(1F 所長) 今日、沢山作業がありました。N2の増量以外にいろいろトピカルなこととして、5号機の D/G B ですが、これの運転確認が良好で待機状態になっています。トラブルがらみで、2号機使用済み燃料プールの循環冷却系でトリップ、これは複数回今まで経験したものです。それから CST の水張りについてはカップリングのフランジの溶接部だと思いますが、そこから水漏れがあつて中断しています。

(1F 発電班) 1号機は、給水系から 4.4m<sup>3</sup>/h の注水量で原子炉に入れています。RPV 底部ヘッド温度は 45.2℃、D/W 内温度は 47.7℃で安定しています、D/W 圧力は 16kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 15℃です。先程来話がありましたように、本日 13:15 に RPV への N2 封入量の調整を 10Nm<sup>3</sup>/h から 15Nm<sup>3</sup>/h に変更していますので、今 1 時間に 1 回の監視をしています。2号機は、CS 系から 4.1m<sup>3</sup>/h、給水系から 3.0m<sup>3</sup>/h、あわせて 7.1m<sup>3</sup>/h で注水です。RPV 底部ヘッド上部温度は 70.3℃、D/W 内温度が 82.4℃でこちらも安定しています。D/W 圧力は 13.9kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.5% で推移しています。こちらも、N2 封入量の調整ということで、14:16 に RPV への N2 封入量を 10Nm<sup>3</sup>/h から 13Nm<sup>3</sup>/h、PCV への N2 封入量を 26Nm<sup>3</sup>/h から 20Nm<sup>3</sup>/h に調整して現在データの推移を見えています。2号機のプールの冷却系においては、今朝 4:17 に一次系の差流量大の警報が発生しまして、ポンプが自動停止しました。現場については漏洩のないことを確認しています。なお、当該計器の警報の関連計器であります熱交の出入口の流量計の不具合が考えられることから、現在、対応については安定化 C さんで検討してもらっている状況です。今朝方のプールの冷却停止の際のプール温度、18.4℃でしたが、現在 19.7℃で、13 時間で 1.3℃程度の上昇を見せています。3号機は、現在 CS 系から 6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.0m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.0m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 67.1℃、D/W 内温度は 60.8℃で安定しています。D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 16℃です。こちらも RPV の N2 封入量、最初に実施しましたが、調整を 10:52 に 10m<sup>3</sup>/h から 15m<sup>3</sup>/h に変更して 6 時間監視強化をしていますが、特に大きな変化はないということで、通常の監視に戻しています。4号機の SFP 水温度は 23℃、共用プールのプール水温度は 21℃です。5、6号機関係は、5号現在、海水温度は 11.7℃で推移しています。原子炉・プール順調に冷却をしています。先般まで実施していた取水路のポンプ室の清掃で不待機になっていました D/G 用の海水ポンプについて本日復旧、試運転を行いまして、本体の 5B D/G に

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

についても確認運転をして、10:23に待機状態になっています。6号機については原子炉・プール冷却は順調です。

(1F1~4号復旧班)水移送関係ですが、2号機はHTI建屋へ移送を継続しております。3号機は移送を停止中です。水位関係は、1号機は、T/B 抜管エリアは13mm上昇で、OP3614mmです。2号機は7mm~8mmの下降で、T/BでOP2873mmです。3号機は5mm~6mmの上昇で、T/BでOP2988mm、4号機は5mm上昇し、OP2977mmです。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は41mm下降、OP2212mm、HTI建屋は29mm下降してOP1313mmで、ほぼシミュレーション通りの水位です。滞留水処理装置関係、KURION、SARRYとも順調に稼働しています。KURIONが17m<sup>3</sup>/h弱、SARRYが28m<sup>3</sup>/hで順調です。明日、1号機のPCVガス管理システムのインサービスに伴いまして、使用する配管のH2パージのための、H2移送のためのN2パージを18時から実施しています。明日インサービスとなります。3号機のCSTの水張り作業については、本日、ホースのカップリング部の溶接部からリークがありました。明日、当該部品、ホースが入手できましたので、明日交換作業を実施し、水張りは明後日からの予定です。

(1F5,6号復旧班)本日、ひまわりによる散水はDエリア、北門付近を実施しました。9:00~10:05、55m<sup>3</sup>です。滞留水の移送はありません。明日はひまわりはEエリア、土捨場の北側を実施予定です。滞留水の移送ですが、明日は10時から12/9の16時、約30時間かけて行います。

(1F 土木班)タンク関係は、Gエリアで排水の関係の工事、Hエリアでタンクの組み立て作業の後片づけ、周辺のヤード整備を行っています。海側遮水壁の関連の作業は、構内側、港の内側の遮水壁関連でボーリング、全部で5本計画のうち4本目の掘進を行っています。構外側、港の外側についてはボーリング3本のうち2本目の後片づけを行っています。構外側については、明日、放水口の南側の海域においてラジコンボートを用いた海底地形、深淺測量を行う予定です。RO処理設備の基礎コンクリートのひび割れ補修、これは蒸発濃縮からの漏洩の再発防止対策の一環として行っていますが、そのひび割れ補修を昨日より行っていきまして、明日までの予定で継続して実施しています。

(1F 建築班)3号機がれき撤去は、T/B屋上でダクト、鉄骨架台の解体、荷下ろしを行いました。Rw/Bも同様にがれき解体、撤去を行いました。建屋廻りでは、ガレキの収集、採石、整地、鉄板敷き、地組ヤードで足場の組立、建屋の解体を行いました。明日も継続となります。4号機は、本日、屋根トラスの解体、明日は外壁、柱、梁の解体になります。スラッジ貯蔵については、PC板の左官補修、床塗装、ボンベ庫のユニット建方を行い、明日も継続となります。

(1F ■■■ユニット所長)9ヶ月間、住み慣れました免震棟を残念ながら離れることになりまして、明日が最後になります。これからは本店の原子燃料サイクル部でお世話になりますが、関係の皆さん、本当にいろいろと助けていただきありがとうございます。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

した。引き続きよろしく願います。

(安定化 C 所長)ガス関係、窒素ガスあるいはガス管理システム関係をまずは安定化 C からやってもらいますが、窒素の方の調整をしたというので、思惑通りにいかなかったのが2号機でありましたが。その次に1号機のガス管理システムの明日の作業状況について説明をお願いします。

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明) 今日、RPV への N<sub>2</sub> 封入量、1~3号機、10Nm<sup>3</sup>/h ずつ入っていましたが、こちらについてそれぞれ 15Nm<sup>3</sup>/h に増加するのと、合わせて、2号機はガス管理中の状態が確認できているということで、PCV への N<sub>2</sub> の封入量を今当初 26Nm<sup>3</sup>/h 入っていたものを 16Nm<sup>3</sup>/h に絞るというミッションを予定していました。それに合わせて1号機については PCV に入れるライン単独で流量計を設置して、RPV と PCV 各々、流量計を設置することで管理の精度をあげるという作業をしています。結論から言うと、1号機はこの作業、無事終了していて、RPV には 15Nm<sup>3</sup>/h、PCV については新しい流量計、単独で設置しましたこちらの流量計で約 28Nm<sup>3</sup>/h 注入できていることを確認しています。3号機も、RPV へ 5Nm<sup>3</sup>/h 増量する作業は終了しています。2号機については、最初に RPV への注入量、10Nm<sup>3</sup>/h から 15Nm<sup>3</sup>/h に操作をした後に、今度、上流側の N<sub>2</sub> の封入量、トータルで 36Nm<sup>3</sup>/h 当初入っていましたが、こちらは最終的に 15Nm<sup>3</sup>/h と 16Nm<sup>3</sup>/h になるということで、こちらは 31Nm<sup>3</sup>/h まで絞っていきかけたのですが、絞っていくと RPV に入れる注入量が寝てしまってなかなかバランスしなかったと。こちら絞りながら最大限 RPV に入れられる量が 13Nm<sup>3</sup>/h に落ち着いたところもありまして、とりあえず今日の作業としましては、RPV 側 13Nm<sup>3</sup>/h、(聞き取れず)とも合わせた流量も当初 35Nm<sup>3</sup>/h から 31Nm<sup>3</sup>/h まで狙ったのですが現状は 33Nm<sup>3</sup>/h で、見かけ PCV の方は 16Nm<sup>3</sup>/h まで下げたかったのが 20Nm<sup>3</sup>/h で今止まっている状態です。明日以降、もう一度手順を確認して再チャレンジ使用と思っていますが、こちらのニードル弁の絞りをもう少し絞ってやって、全体的に RPV に行きやすい状態にして、大本の方を絞ってうまく 15Nm<sup>3</sup>/h と 31Nm<sup>3</sup>/h という状態が作れないか、少し明日以降、対応していきたいと。できるだけ RPV の方 15Nm<sup>3</sup>/h の状態になるように持っていきたいというふうに考えています。N<sub>2</sub> 封入関係は以上です。続いて、明日のガス管理システム、今2号機しか入っていませんが、1号機についても準備が整いましたので、明日から PCV からの抽気を引っ張って、中のモニタリングをしながら系外に放出するような作業を試みたいと思っています。こちら、簡単なガス管理の系統図です。今 PCV の方には先程お話したとおり格納容器に直接 28Nm<sup>3</sup>/h、RPV の方に 15Nm<sup>3</sup>/h 入っています。この CCS 系という系統を使って途中からガス管理のラインをこのような形で設置して、除湿器、電気ヒータ、フィルタを介して、最終的にファンで引っ張って、モニタリングしながら系外に出すと。大部分については再循環しながらと、そういった系統構成になっています。本日の作業については、当然設置後、空気が入っていて、その中はほとんど水素はないと思っていますが、仮に水素が入っていたときに可

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

燃するリスクを下げるということで、現在、ここから N2 を封入して系統の中を窒素リッチの状態、要はほとんどできるだけ酸素のない状態にラインナップしています。今晚中にそこまでやった状態で、明日抽気を始めて 15Nm<sup>3</sup>/h PCV から引っ張って系外に出すと。その際にモニタリングとしては放射性ダスト、あと、1号機については希ガスのモニターも設置しています。合わせて水素濃度、酸素濃度は測定可能という状態です。これらの監視項目ができますので、インサービスに向けてあらかじめ一定の止めるラインの手順を考えています。水素濃度については、2号機においてガス管理システムを運転した際に、ガス管理側で測定した水素濃度、2.9 まで上昇したという状況を受けまして、現状、RPVとPCVについては充分窒素を入れている状態になっています。ですが、1号機のガス管理システムの試運転にあたっては、念のため仮に上昇があった場合については以下の対応を今考えています。まず、一つの閾値としては今 2.5%を考えていまして、2.5%を超える、もしくはその手前で超える傾向が確認された場合には、PCV への窒素の封入量を 5Nm<sup>3</sup>/h 程度増加させて、ガス管理に入ってくる水素濃度を間接的に下げる処置をしたいと考えています。仮にこれが相当入れてもなかなかガス管理に入ってくる水素濃度が下がらなくて、3%を超えるようでしたら、先程系統図にもありましたが、窒素封入ラインの方から窒素をインジェクションしながらシステムとしての水素濃度を下げてあげて、できるだけ早く格納容器の中の水素を掻き出してあげると、そういった処置をしたいと考えております。ただ、相当量窒素を入れて時間がかかっていますので、ある程度水素の方が置換されているのではないかと現状は考えています。もう一方で、ダストの測定もできますのでそちらの方の放出管理の目安値を設けています。現状、2号のガス管理のときと同様に1号機のダスト濃度結果から、現在プラントから放出している値を評価のもとにして、要はプラントから出ている量より当然ガス管理システムから出してしまえば、ガス管理システムに入れている意味がなくなりますので、その元データとして放出基準を定めようと考えています。具体的な数字としましては、基準値で  $5 \times 10^{+6}$ Bq/h、システムとして Bq/cc でデータが出るのですが、換算する大体 0.3Bq/cc を超えるようなダストが検出されれば、それが続くようであれば、うまくフィルタで除去できていないとか、そういった話になりますので、原因を追求して、場合によっては停止を考えています。ただ、実質今2号機ではフィルタの出口のダスト濃度は 10<sup>-4</sup> オーダーで落ち着いていますので、まずは 10<sup>+1</sup> オーダーでダストが出るとは考えてはいませんが、閾値値としてはその値を考えています。一方、臨界監視については、こちらについても核種分析により(聞き取れず)廃液ガスの有無について確認します。試運転においては(聞き取れず)データを確認しつつ、データを蓄積した上で、監視手順を設定することを考えていますが、2号機の実績を見て、目安としては 10<sup>-3</sup>Bq/cc 程度未満であれば自発核分裂も起こっていないという程度で今、安全評価から情報をもらっていますので、この程度の値が出たときに再度安全評価と協議の上、臨界について監視の方法について調整したいと考えています。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 所長) ガス管理システムが2号機に入れることでいろいろなことが分かったと、その教訓を踏まえて1号機も管理の仕組みをいろいろ考えていっていますが、いろいろ予想しないことが2号機にもありましたので、監視をしっかりと確認しながら状態を推定するメンバーも合わせて一緒に評価しながら落ち着いたところを目指していきますのでよろしくお願いします。使用済み燃料プールがトリップしたという件で今後の対応についてお願いします。

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明) 2号機の SPF 循環冷却設備、差流量大トリップというのがありましたので、その対応状況について説明します。2号機の SPF の冷却設備のラインですが、赤いところが一次系のループになっています。入口側の流量計と出口側の流量計をここに付けていますが、出口の流量計の差流量を見ていまして、系外へ出る破断があった場合には、差流量がでるということでシステムをトリップするような機能がついています。これまでの時系列ですが、赤が入口流量計、青が出口側の流量計になっています。多少振れが変動していましたが、11/28に開いた形になって差流量でトリップしています。この段階で計装配管、検出器関係を疑っていきまして、計装配管のブロー等をしています。後で説明したいと思います。その後、ポンプを1回起動しまして再度計装配管のブローを実施しています。それでも改善しませんでしたので、再度11/30の段階でトリップしています。この段階で計器の点検と計器点検をした後に計装配管の取り出しラインのところを清涼水でフラッシングをして計器水張りを実施し再度起動しています。最初、動きとしては安定したように見えたのですが、また変動してきまして本日トリップしたということです。トリップの要因ですが、要因分析をしています。一つは実流量変動というパターンですが、こちらは流量関係のパラメータとかシステムの運用状況、システムに流入するようなもの、ポンプの運転状態とかを確認しましたが、これらについては特に異常はないということで要因としては潰し込んでいます。次は計測流量の変動ですが、流量計器の問題と検出配管の問題、フローエレメントの問題がありますが、そういったところから要因を分析していきまして、3つ程考えています。この3つですが、一つは計器の点検、これを実施しまして、その後にこのラインを洗浄しています。ここにフローエレメントが付いていますが、このような形になっていきまして、取り出し口が2箇所あるような状況です。これまでやったことですが、こちらの計器の点検をした後に水を張って、その後こちらの方を水張りして、たすき掛けで水を張りましたが、あまり改善効果は見られませんでした。今後ですが、FE、先程ありました FE のこちらの方を、計装配管の取り出しに異物が付着しているのではないか、あと、このあたりに異物が付着しているのではないかということで、潰し込みをしていきたくていまして、まずは水質調査をしたいと思っています。それから、3号機の状況と比較をしていきたくて。更に FE 部、計装配管取り出し部を直接確認できないかということで、現在検討しています。合わせて他の要因の洗い出しをしていきたくていまして。

(安定化 C 所長) スケジュール間としてはどのような感じでしょうか。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明) 系統自体はしばらく停止できると思いますので、調査はまだ具体的には絶っていませんが、何とか復旧できる見込みを立てて、今週にはもし起動できるようであれば起動したいと思います。

(安定化 C 所長) なるべく、水温は低いですし、上昇は顕著ではないですが、なるべく早く応急的な話なのか、次に点検を入れる計画を含めて早めに詰めてほしいと思います。次は CST の水張りの時に先程ちょっと水漏れがあったというか、ライン確認しているときで明日作業しますが、極簡単に状況だけお願いします。

(安定化 C 循環注水冷却 G) (書画で説明) 昨日から3号機の CST について、水移送、水抜きを T/B の地下に行いまして、今日は RO の処理水をこちら、CST に張るということで、こちらのラインのリークチェックを兼ねて行っていました。こちらの点線で囲ったところですが、こちらから漏洩が確認されましたので移送を止めて隔離しています。漏れた場所が、こちらが2号機の T/B 大物搬入口でして、その海側のアクセスするところ、こちらの移送のホースのカップリングですが、こちらの金属部分、溶接部というふうなことで、まだ確認ができていませんが、そこからリークがしています。その状況がこういった状況でして、こちらに湿ったところがあるということで、こちらがリークしているという状況です。漏洩量としては現場で見たところでは、5L くらいではないかということです。漏洩した水は処理水ということで、RO を出た後ということで、こちらがアクティビティ的にはほぼ検出限界以下というものでして、念のために受けている水をサンプリングしたところβ線についてもゼロということで確認されています。現在、ホース内の溜り水をドラム缶にうけまして、2号機の T/B の地下に移送中です。こちらは明日、この部分の取替を行いまして、その後、また CST の水の移送をしたいと考えています。

(安定化 C 所長) 確実なチェックをよろしく願います。水処理関係の週報をお願いします。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 今週の週報です。水処理関係、順調でしたが、一部、蒸発濃縮装置からの漏洩についてはお詫びします。処理は、T/B の状況です。1号機が 260m<sup>3</sup> 増えています。こちらは建屋の水位が 3500mm 程度でキープしていますので、サブドレンより下ということで、週末の運転ということで、先週末は運転しませんでしたので、少し増えていると。また、週末運転、隔週の運転ということで、2号機側に移送します。それ以外はご覧の通りの処理状況です。水位については、プロセス建屋、高温焼却炉建屋ですが、水位は 2300mm、1400mm で安定しています。処理量は 7520m<sup>3</sup> 先週から処理しまして、累積 182600m<sup>3</sup> という処理量になっています。使用済みベッセルは KURION が5本ということで保管容量は 3593 本ということになっています。滞留水のスペック自体は変わっていません。安定的に DF は 10+5 程度出ています。滞留水の貯蔵です。貯蔵については貯蔵の濃縮塩水受けタンクがインサービスされまして 107000ton の貯蔵容量に対して 82000ton という貯蔵量です。蒸発濃縮装置が動いていますので、濃縮装置の貯槽が増えてい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ます。情報ですが、先般、リークがありました蒸発濃縮装置の漏洩箇所は推定箇所ですが、こちらの調査を明日午前中から現場に入ります。こちらの熱交換器の出口のフランジが漏洩箇所ですのでこちらの通水確認、分解点検の予定です。

(安定化 C 所長)蒸発濃縮装置のトラブル関係では、原因の究明をしなければいけないということで、しっかりと見ていくということと、漏洩のリスクを減らすということは、全体を見ていくということを引き続いて個別の漏洩箇所あるいは漏洩のしそうなところについてのリーク防止というのは今やっておりますが、もう少し広い観点からの対策、あるいは漏洩検知器は今計画を作っていますから、順次速やかにやっていきたいと思っておりますので、よろしく願います。もう一つは、原子炉建屋、格納容器のガス管理システム等でダスト等の分析をしていますので測定結果についての報告をお願いします。

(安定化 C 環境影響評価 G) (書画で説明) 12/2, 6にかけまして、3号機、2号機のダストをサンプリングしています。まず2号機から説明しますが、2号機のブローアウトパネル部、それとガス管理システムの入口、出口でサンプリングしています。結果ですが、12/6のデータです。2日については既に紹介していますので省略しますが、6日の日です。ブローアウトパネル部、中央部が  $5 \times 10^{-6}$  レベルでした。前回と比べて一ケタ低い値となっています。PCV ガス管理システムについても、出口は若干高めですが(聞き取れず)ありません。ブローアウトパネル下部については、装置不具合になっている状況です。希ガス関係ですが、PCV ガス管理システムの出口で放射能濃度を測っています。フィルタ 85 を紹介しますが、2日の日は  $21\text{Bq}$  でしたが、6日の日は  $13\text{Bq}/\text{cm}^3$  ということで、前回から徐々に減ってきています。続いて3号機です。原子炉の直上部のこの位置で今回測定しています。測定結果ですが、2回測定しています。1回目、横向きの方ですが、 $10^{-2}$  というちょっと高めの値が出ています。これは、ビデオカメラ等で確認して装置を確認していましたが、強い風が吹いてまして、当日、採取装置がガレキと接触しつつ擦れたために核種濃度がコンタミで高くなっていると思っております。2回目については(聞き取れず)ということで、前回の放射能濃度と同じくらいの濃度となっています。3号機はこういったデータがありましたので、今週の土曜日に念のためもう一回測定したいと考えています。

(安定化 C 所長)また、核種分析、濃度の結果から全体の放出量の評価になりますので、よろしく願います。

(本店広報班)会見の状況についてご案内します。午前中は11時から、昨晚提出した中期的安全確保の考え方その1の改訂について配布、説明しています。その他、1号から3号の RPV の窒素封入量の増加、もしくは2号の減、それから2号の使用済み燃料プールの代替冷却システムの停止、3号 CST 水張りのホース接続部からの漏れについてご案内しています。あと、2号機の PCV ガスサンプリングの結果、それから、2F さんのほうでやっています夜間訓練のお話しをご案内しています。質問は中期的安全確保の考え方について、蒸発濃縮装置の水漏れについて、報告は何

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

時とか、漏洩検知機をいつ頃といったスケジュール感の話がでています。会見は1時間弱で終了しています。夕方の方は18時から、当社単独ということで、週報、もしくは1号の PCV の圧力計、流量計取付に伴う(聞き取れず)といったところをご案内しています。

(本店公務班)新福島変電所の夜ノ森線2号の停止についてです。12/10、8時から17時で夜ノ森線2号を停止します。作業としては、新福島変電所にあります鉄鋼のところで、現在、夜ノ森線2号については、双葉線を経由して送電していますので、夜ノ森線の架線は使用していません。夜ノ森線のこの鉄鋼部分の基礎について、一部、極微量の地盤の沈下が見られますので、使用していないものをなるべく撤去しまして、鉄鋼にかかる荷重を減らそうということで、今回、夜ノ森線を停止して、ここの架線の撤去作業をします。実際の作業にあたっては、夜ノ森線2号が停止しても、その他送電線が生きていまして、供給量的にも充分あります。また、バックアップとして発電機車、発電機等も配置しています。更に、この作業については線路撤去ですので、万が一の時には直ぐに作業を止めまして、送電可能です。そういったことで停止作業をやらせていただきます。

(安定化 C 所長)下のスケジュールは、見えますか。10日の9時から16時までですか。

(本店公務班)はい。

(J ヴィレッジ)視察の報告です。本日、午前中、アメリカ国防省脅威削減庁マイヤーズ長官による J ヴィレッジ視察がありました。小森常務、福島第二の [ ] 所長にも対応いただきまして、滞在時間も2時間ということもありましたので、現地の運営等について十分な説明をさせていただきました。

(安定化 C 所長)2F さんで夜間訓練があったとのことですが、何か紹介はありますか。

(2F [ ]) 18:03に訓練は終了しました。写真等を使って明日紹介します。

(安定化 C 所長)招集訓練ですか。

(2F [ ]) 接続とか、個別の訓練です。

(安定化 C 所長)現場内の訓練ということで、まとまったら紹介をお願いします。今日は私も移動したときに楢葉町の町役場のところで、自衛隊さんのところで非常に多くの車で町役場の除染をされていたようですが、非常に車の移動が一時立入の方も含めて多いと思いますので、関係の方の交通安全については是非よろしく願います。本日の統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/8(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 1号機ガス管理システムの運営状況について後ほど補足する。  
(1F 所長) 作業は淡々と進んでいる。プラント状態は安定している。牛が正門付近まで接近中である。町のほうにも進出して、6号線にいたので交通事故については注意して欲しい。  
(1F 発電班)  
1号機は、給水系から 4.3m<sup>3</sup>/h の注水量で原子炉に入れていきます。RPV 底部ヘッド温度は 44.7℃、D/W 内温度は 47.4℃で安定しています、D/W 圧力は 15kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 16℃です。RPV への N<sub>2</sub> 封入量は 15Nm<sup>3</sup>/h で安定している。本日、PCV ガス管理システムの T/R を A 系 B 系で実施しており、現在 B 系を 15 Nm<sup>3</sup>/h で運転中である。系統の水素濃度は 17:30 現在、0.24%を指示している。  
2号機は、CS 系から 4.1m<sup>3</sup>/h、給水系から 3.0m<sup>3</sup>/h、あわせて 7.1m<sup>3</sup>/h で注水です。RPV 底部ヘッド上部温度は 71.4℃、D/W 内温度が 83.7℃でこちらも安定しています。D/W 圧力は 13.3kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.5%で推移しています。こちらも、RPV 及び PCV への N<sub>2</sub> 封入量を調整しており、RPV へは 14.5 Nm<sup>3</sup>/h、PCV へは 16.5 Nm<sup>3</sup>/h で封入を行なっている。2号機 SFP 冷却系だが、昨日朝に差流量大で停止状態継続している。本日、流量計関係の検出ラインのフラッシングと水のサンプリングを実施した。今後の対応を現在 NISA へ説明している。再起動については、プール温度を注意して、現在雨も降っており暗くなっていることから明日朝以降にする。プール水温度は停止時 18.4℃、現在 24.2℃で 37 時間で 5.8℃の上昇を見せている。  
3号機は、現在 CS 系から 6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.0m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.0m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 66.9℃、D/W 内温度は 60.6℃で安定しています。D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 16℃です。RPV への N<sub>2</sub> 封入量は 15 Nm<sup>3</sup>/h で安定している。4号機の SFP 水温度は 23℃、共用プールのプール水温度は 20℃です。共用プールの冷却用ポンプ電源ケーブル引き合い作業を明日予定しており、5時間程度プール冷却を停止する。温度上昇を 1.0℃想定している。  
5、6号機関係は、5・6号現在、海水温度は 11.4℃で推移しています。原子炉・プール順調に冷却をしています。  
(1F1～4号復旧班) 水移送関係ですが、2号機は HTI 建屋へ移送を継続しております。3号機は移送を停止中です。水位関係は、1号機は、T/B 抜管エリアは 12mm 上昇で、OP3647mm です。2号機は 8mm の下降で、T/B で OP2852mm で、トレンチは OP2834mm。3号機は T/B で 6mm 上昇し OP3005mm、トレンチは 7mm の上昇で、OP3241mm、4号機は 16mm 上昇し、OP3001mm です。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は 41mm 下降、OP2102mm、HTI 建屋は 7mm 下降して OP1258mm です。滞留水処理装置関係、KURION、SARRY とも順調に稼働しています。明日キュリオ

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ン H ベッセル 2 塔交換を予定している。

3 号機 CST 希釈ラインの水漏れがあった箇所へのホース取り替えを実施している。

3 号機 PCV ガス管理システム設置工事絡みで、荷揚げ台車の復旧作業を継続中。共用プールで電源ケーブルの接続箇所の変更作業がある。補機冷却系と冷却浄化系のポンプが停止する。1. 25℃程度の温度上昇の予定。

2 号機 PCV ガス管理システムの設置工事で集中監視化をするために、10:30~11:00 WEB カメラが停止する。

所内共通 M/C1B の設置工事として明日 5B からの受電を 10:00 から予定している。

ひまわりによる散水は明日は土捨て場東側を予定している。

6 号機 T/B から仮設タンクへの移送だが、本日 10 時から明日 16 時まで実施する予定。

(1F 土木班) タンク関係は、G エリアで排水工事、H エリアでジョウナイの整備を継続している。RO 処理関係で C エリアで行っていた基礎コンクリートのひび割れ補修は本日完了した。海側遮水壁の関連の作業は、内構区は全部で 5 本計画のうち 4 本目の掘進を行っています。ニコウク、4 号機の放水口側はボーリング 3 本のうち 2 本目のボーリングが完了しており、後片づけが本日終了した。3 本目は、埋め立てを行なうから行なうのでしばらく実施しない。本日校内で実施したシンセンソクリュウ無事終了した。

(1F 建築班) 3 号機がれき撤去は、T/B 屋上で排気ダクト、鉄骨架台の解体、荷下ろしを行いました。海側構台ジグミヤードでは足場の組立、架台組立て、ショウタテヤの解体を行なった。2 号機西側道路だが、路盤整備を行なった。北側の Rw/B はがれき解体、撤去飛散防止剤散布を行いました。明日は継続だが、Rw/B では解体用の重機設置を行なう。4 号機は、本日は東面の 6-7 通り間の外壁、柱梁の解体を行なった。明日は西面の 6-7 道路間の外壁、柱梁の解体を行う。スラッジ貯蔵については、PC 板の天盤サカン補修、設備棟ではボンベ庫のユニット建方を行い、明日も継続となります。

(安定化 C 外部循環冷却 G) 1 号機 PCV ガス管理システムの系統試験を実施している。10 時から A 系ブロー起動し、10:29 頃 10m<sup>3</sup> で流量保持しパラメータ監視を行ない、11:40 に定格 15m<sup>3</sup> で運転し一通りデータが取れたのでお昼過ぎに運転を完了した。引き続き B 系を 12:30 から起動し、最初から 15m<sup>3</sup> まで流量を上げて、データを今後示したい。

(本店 ■■■) 希ガスのキセノン 135 のレベルを示している。最初から流量上がってきているが、現在検出限界値くらい。レベルとしては、先般 2 号機の検出レベル 10<sup>-3</sup> オーダーである。自発核分裂レベルのもの。クリプトン 85 の検出結果である。若干さちっていないが上昇傾向。長半減期の希ガスであるので、臨界が起きているというよりは事故の時発生し滞留していたものが検出されていると考えられる。水素濃度の結果は、リニアに上昇している。17:30 のデータで約 0.24% であるので、どの辺ま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で上がるのか継続監視していく。ダスト放射線モニタの測定結果、現時点では約 80cps であり、これは環境影響評価 G で出している、 $6 \times 10^7$ レベルの 1/10 を管理目標としている。これよりもさらに低い値である。ガス管理システムとして、効果を発揮していると考えられるが、飽和していないため、監視していく。1号機からの放出放射線量の基準値は $5 \times 10^6$ Bq/h を考えている。この基準値を継続的に超過する可能性がある場合は、放出量の状況を確認していく。臨界監視はキセノン135で監視をしていく。現時点では $10^{-3}$ オーダーであるので自発核分裂と考えている。

(安定化 C 外部循環冷却 G) 先週3号機荷揚げ台車がスタックした件で復旧した。3号機 R/B 北西コーナで蛍光灯のケーブルに引っかかっていた荷揚げ台車についてケーブルの処理を行ない復旧した。カメラが曲がってしまったので取り替えと目的とした既設取合部の調査を行なっている。ケーブル撤去のため13:55から人が入り撤去をしている。北西の二重扉が開くことが確認されたため、荷揚げ台車をそちらに一旦待避させ、そこで正常なカメラに取り替えをした。再度リトライという形で機器ハッチ前まで移動させた。調査は16:30に完了。作業台車は大物搬入口外あたりにきている。線量は6.51mSv であった。データ取った状況は、作業台車で既設取合部を計測した結果、グレーチング上部で55~60mSv/h であった。高い人が近寄って作業ができそうな状況と考えている。グレーチング下部は 80~85mSv/h である。作業台車でジグを持ち上げて、被ばく線量を下げる計画を建てていく。

(安定化 C) 本日、蒸発濃縮装置3Aについて漏えい箇所の調査を実施している。調査は濾過水を張って、余熱器の漏えい痕があるとのことで、当該部分について漏えいがあるか確認した。(系統の説明)。水を張る際に下にビニールを養生したが、ここから水が滴下していた。フランジを取り外し見たところ、若干ゴムのパッキンが下に伸びている状況であり、変形が原因で漏れたと推定。原因詰めていきたい。本日は水を張って確認したが、今後ハウス内を除染をし、他の箇所に漏えいがあるか確認していく。

(本店広報班) 11時、16:30から統合会見を実施している。11時から1号機のPCV ガス管理システムの試運転開始を説明。また昨夜2F の緊急安全対策夜間訓練の報告をした。内容としては夜間暗いなかでケーブル接続が出来るか訓練を実施した。また、本日10時に全漁連の会長が当社を訪れ抗議が行われている。内容については、施設運営計画その2を今後出すが、事前に関係先に説明している。その中に処理水をどう扱っていくのか、基本的には再利用をするが、ただし、それでも余剰水が発生した場合は告示濃度を十分下回るよう処理してから海洋放出していくが、全漁連としては承服できない。本件については、夕刊各紙に大きく報道されており、汚染水処理水放出計画と一面又は社会面に出ている。16:30からの統合会見は環境省が出ている。除染について会見をしている。

(2F) 昨日行った緊急安全対策訓練について報告する。昨日7日17時より18:12迄、社員49名、協力企業12名、合計61名参加で夜間で行なった。具体的には電

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

源車の設置による電源確保訓練として電源車の移動、配備を実施し、目標時間3時間に対して、1:12と十分余裕を持って終了した。原子炉への注入訓練については、FPラインから消防車を経由させて、炉心、SFPへ繋げる連結送水口への連結、海水から防火水槽ラインへの調整訓練を実施した。時間的には5月訓練の目安2:30に比べ約1時間で終了した。ガラ撤去の移動訓練も実施したが、特に問題なかった。

(福島支援室)16時から蒸発濃縮装置からの漏えいについて、福島県から厳重注意を受けた。詳細はメールで見て頂きたい。系外への放出の際に、海に出たのかどうか、敷地外に出たのかどうか、を一番気にしており、判断に時間を要していることもあり、対策立案について早期に判断する努力を見せて欲しいと言われている。

~全体会議終了~

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/9(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C 所長) 作業量が多かった。水素(炉注?)関係は後ほど情報があるが、比較的安定した状況である。1号機の炉注についてCSからの注水を準備していたが、明日から実施をする方向で考えている。

(1F) 天候は曇りのち晴れ。非常に寒かった。APDベースで3086名の方が入構した。現在、プラントは安定している。1号機の水素濃度が0.31%まで上昇したが、現在0.21%まで下がっている。明日より1号機CS系から炉注を開始する。

(1F 発電班)

1号機は、給水系から4.3m<sup>3</sup>/hの注水量で原子炉に入れています。RPV 底部ヘッド温度は44.7℃、D/W 内温度は47.5℃で安定しています。D/W 圧力は9kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は15℃です。PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.21%を指示しており低下傾向を示している。

2号機は、CS系から4.2m<sup>3</sup>/h、給水系から2.9m<sup>3</sup>/h、あわせて7.1m<sup>3</sup>/hで注水です。RPV 底部ヘッド上部温度は77.1℃である。それは昨日より高めであるが、他のパラメータが変動していないので監視を継続している。D/W 内温度が83.3℃、D/W 圧力は12.1kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.5%で推移しています。2号機 SFP 冷却系だが、現在も停止中である。運転方法についてNISAと調整をしており、了解をもらった。起動は明日を予定している。停止時のプール水温度は18.4℃で、現在28.4℃である。明日の起動まで2℃未満の上昇と予想している。

3号機は、現在CS系から6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から2.1m<sup>3</sup>/h、あわせて8.1m<sup>3</sup>/hで注水中です。RPV 下部ヘッド温度は66.8℃、D/W 内温度は60.4℃で安定しています。D/W 圧力は0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は16℃です。

1, 2, 3号機については注水量を微調整している。

4号機のSFP水温度は22℃、共用プールのプール水温度は19℃です。

本日共用プールの冷却用ポンプ電源ケーブル接続変更作業に伴い2時間程停止したが0.3℃程度上昇した。

6号機RHRS(C)ポンプ流量が判断基準である180l/sまで低下したため、約30分ほど停止し再起動している。現在は流量200l/sが確保されている。炉水温度は0.9℃上昇した。

(1F1~4号復旧班)水移送関係ですが、2号機はHTI建屋へ移送を継続しております。3号機は移送を停止中です。

水処理も順調で、17時現在サリーで27.3m<sup>3</sup>/h、キュリオンで70GPM(15.9m<sup>3</sup>/h)である。またキュリオンのHベッセル2塔交換している。明日ベッセル交換はない。

ROも処理継続中である。

蒸発濃縮装置については1Aの調整運転のみ実施している。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

水位関係は、1号機は、R/Bは33mm下降のOP3979mm、T/B 抜管エリアは12mm上昇で、OP3679mmです。2号機は9~10mmの下降で、T/BでOP2830mm。3号機は6mm上昇し、トレンチでOP3257mm。4号機はT/Bは4mm上昇し、OP3011mmです。受け入れ側集中ラドは、プロセス建屋は39mm下降、OP1997mm、HTI建屋は18mm下降してOP1195mmです。

本日10:52~13:02所内共通M/C1B受電試験を完了。現在開放状態であり、月曜日負荷切替え。

共用プール電源接続変更で、9:28~11:58冷却系を停止している。

1号機CS系炉注準備として、ホース接続、弁の開操作をしている。水張りも作業しており、明日CSから注入する。

3号機CST滞留水希釈のため、水張を本日実施している。

明日から1号機T/Bから2号機T/Bへ移送を開始するが、本日ポンプ追設に伴う移送ラインのL/Tを実施している。

2号機PCVガス管理システムについて、集中管理化でWEBカメラを一時停止したが、支障は生じていない。

新変電所設備用の鉄塔No23について本日、明日上部組み立てを継続。

(1F復旧班)明日、浄化水の散水をFタンクエリア周辺で実施する予定。滞留水の移送は明日予定なし。

(1F土木班)タンク関係は、Gエリアでジョウナイセイビ、Hエリアで地盤改良を実施中。海側遮水壁の関連の作業は、継続中。

(1F建築班)3号機がれき撤去は、T/B屋上でダクト、鉄骨架台の解体、荷下ろしを行いました。建物周りでは鉄板敷き込み、構台上部の重機設置、ヤード関係では足場の組立、架台組立てを行なった。明日は、T/B屋上でダクトの荷下ろし、またRw/B上部での解体が再開される。4号機は、本日外壁、柱梁の解体を行なった。明日は解体は休工となるが、解体用重機の盛り換えを実施する。スラッジ貯蔵については、PC板の天盤サカン補修、設備棟ではボンベ庫のユニット建方を行い、明日も継続となります。

(安定化C原子炉安全評価G)当面の注水量に関する考え方を説明する。これまで11月はずっと下げてきたが、圧力容器の窒素封入が出来るまでは温度を少し高めにして、水素を追い出すことをするため注水量を絞っていたが、窒素封入が確認できたので注水量の制限を解除する。また、ステップ2の達成を確実にするため、RPVの底部で80℃を超えない、格納容器温度が著しい上昇傾向にならない、一回あたりの注水量が1m<sup>3</sup>/hを超えない条件を設定しながら流量を増やしていくことを考えている。1号機は必要量としては4.5m<sup>3</sup>/hであるが、炉注について給水系のみであったがCSからの注水を開始することとなるので、CSからの中止を開始して2m<sup>3</sup>/hを注水した時点で注水効果を確認にする。2号機は必要量としては6.6m<sup>3</sup>/hである。しかし冷温停止を確実にするため、注水量を9.0m<sup>3</sup>/hまで増加させる。3号機は必

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

要量は6.8m<sup>3</sup>/hであるが、9.0m<sup>3</sup>/hまで増加させる。

明日、1号機CS系1m<sup>3</sup>/h入れ始める。日曜日に1m<sup>3</sup>/h増加させる。2号機は明日CSから1m<sup>3</sup>/h増加させて、日曜日0.5m<sup>3</sup>/h増加させる。3号機は給水系からの流量を1m<sup>3</sup>/h増加させる。理由は給水系の計器が下限に近いことや、ポンプ性能もぎりぎりであることからである。

(安定化C環境影響評価G)明日、蒸発濃縮装置の漏洩に対応し、主にストロンチウムの拡散について確認することをする。これまで15kmよりも外側でモニタリングをしていたが、流出量が150l程度であるので、拡散を考慮して10km範囲を実施する。(定点は資料参照)。ストロンチウムについては3週間程度分析にかかる。ストロンチウムの測定はこの規模でやるのは今回(初めて)であるが、今後継続的に実施する。(安定化C)1号機のガス管理システムについて昨日から運転しているが、本日の0時で最大で0.31%まで上昇しているが、その後下降傾向で0.21%となっている。水素は格納容器で発生しているので、平衡すると考えていることから継続に監視していく。希ガスについては、キセノン135が検出限界近い状態で検出されたりされなかったりとしているが、オーダーとしては $2 \times 10^{-3} \sim 4 \times 10^{-3}$ である。クリプトンは検出されており、昨日とほぼ同等レベルもしくは若干下がり傾向にある。

(安定化C)2号機SFP冷却系が停止した状態であるが、明日運転してデータをとりたい。インターロックを持っているが、除外して運転したいと考えている。通常監視はスキマーサージタンクのレベルで漏洩が監視できるので、3時間に1回から1時間に1回の監視強化をして、著しい漏えいがあった場合はシステムを手動で停止する。警報が発生した場合は、スキマーサージタンクの水位を確認して、著しい減少傾向が確認された場合には、システムを手動停止する。監視頻度を15分に1回に上げたいと考えている。

計器関係は、サンプリングを実施しあわせてフラッシングを実施している。

(本店広報班)11時から単独でレクをしている。昨夜安全確保の考え方をNISAへ提出しているが、10:30頃から記者レクをしていた。特に海洋放出の質問を頂いた。吉田所長の病状報告をした。3月11日以降の被爆線量について■■■先生の見解を報告した。最後にマスコミに対して、今後吉田所長の一患者として病気治療に専念することからこれ以上の取材申し込みは遠慮願いたいと伝えた。

(保安院山本)安全確保についてだが、本日意見聴取会を開催した。特に、冷温停止に関わる冷却設備の信頼性安全性の評価について意見をもらった。保安院の評価書の案について議論頂いた。その2については、東京電力から内容の紹介を頂いた。保安院としては、評価書について専門家から意見をもらったところなので取り纏めをしていきたい。纏まったら原子力安全委員会に報告する。

～全体会議終了～

以上

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/10(土)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C █████) 本日も現場を支えてくれた皆様お疲れ様でした。本日は、土曜日ということで、幾つかの作業は休んでいます。それでも幾つかのオペレーションが行われています。1～3号の炉心流量を増やす操作、4号機プールの塩分濃度を更に下げるイオン交換装置のインサース、2号機では、トリップを繰り返していましたプール冷却ポンプの起動です。本日は、この冬一番の冷え込みで、氷点下を記録する程でしたが、トラブルもなく進捗しています。安全作業に感謝しています。

(1F 本部) 先ほど有りましたように、氷点下ということで発電所構内でも水たまりに氷がはっている状況です。今後も、車両のスリップ等注意しながら、作業を進めたいと思っています。プラントはパラメータ安定しています。1号機は、炉心スプレイ系からの炉注を始めまして、温度変化は、顕著に表れていません。水処理・移送・散水は計画通りです。

(1F 発電班) 本日1号～3号機は、炉注流量を増加しています。それぞれ1m<sup>3</sup>/h の増加ですが、1号機はコアスプレイ系からの注入を開始、2号機は、コアスプレイ系を増加、3号は、給水系の増加を行っています。温度は、監視強化をしていますが、顕著な変化はありません。プラント状況ですが、1号機は、給水系から 4.2m<sup>3</sup>/h、CS系から、1.0m<sup>3</sup>/h、合わせて 5.2 m<sup>3</sup>/h で注入中です。RPV 底部ヘッド温度は 44.6℃、D/W 内温度は 47.4℃で安定しています。D/W 圧力は 9kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 14℃です。PCVガス管理システムの水素濃度は現在 0.11%を指示しており低下傾向を示している。

2号機は、CS系から 5.5m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.5 m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.0m<sup>3</sup>/h で注水です。RPV 底部ヘッド上部温度は 78.0℃である。D/W 内温度が 80.4℃、D/W 圧力は 10.8kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.5%で推移しています。また、2号機 SFP 冷却系を、11:37にインサースしています。起動時のプール水温度は 31.3℃で、現在もまだ変わっていません。燃料プールの容量が、1200m<sup>3</sup>程ありますので、低下には時間が掛かると思われます。継続監視します。

3号機は、現在 CS系から 6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から 3.1m<sup>3</sup>/h、あわせて 9.1m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 66.3℃、D/W 内温度は 60.3℃で安定しています。D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 15℃です。

4号機の SFP 水温度は 21℃、共用プールのプール水温度は 18℃です。

5、6号機の方ですが、新福島変電所の作業で、夜ノ森線2Lを朝方停止して、12:46に復旧しています。

(1F1～4号復旧班) 水移送関係ですが、2号機はHTI建屋へ移送を継続しております。3号機は移送を停止中です。1号T/Bから2号T/Bへの移送を14:00開始しています。12日の朝まで継続です。水処理も順調で、17時現在サリーで 26.5

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

m<sup>3</sup>/h、キュリオンで16.1m<sup>3</sup>/hです。ROは、系列2が運転中です。蒸発濃縮装置については1B、1Cが午前中、1Aが午後、調整運転のみ実施してまして、明日も継続です。アレバは停止中です。本日ベッセル交換は有りませんでした。明日キュリオンのHベッセル2塔交換します。

水位関係は、2号機が5～6mmの下降で、T/BでOP2809mm。3号機は5～7mm上昇し、トレンチでOP3274mm。4号機はT/Bは13mm上昇し、OP3031mmです。1号機は、T/B、R/B共、18mm下降で、R/BがOP3907、T/BがOP3679mmです。本日の作業ですが、4号SFPイオン交換装置をインサービスしています。先ほど有りました、2号のSFP冷却システムですが、差流量のインターロックをジャンパーした上で、再開しています。警報の方は発生する状態に保たれています。

(1F56復旧班)明日、浄化水の散水、滞留水の移送共、明日予定なし。

(1F 土木班)タンク関係は、Gエリアでジョウナイセイビ、Hエリアで地盤改良を実施中。海側遮水壁の関連の作業を実施。明日構内作業ありません。

(1F 建築班)3号機がれき撤去は、T/B屋上でダクトチラー荷下ろし、ラドでのガレキの解体撤去、T/Bではガレキの集積。地組ヤードで架台組み立てを行っています。また、LSTR建屋？での配管の閉止作業も行いました。明日は、継続になります。4号機は、オペフロ上のガレキの片づけ、高所作業車の組み立てを行っております。明日は、作業有りません。スラッジ貯蔵については、PC壁の天盤補修、タンク基礎のクラウド、オンベコユニットの仕上げを行っています。明日は作業ありません。

(本店広報班)本日は、午前11時、午後18時から会見を実施しています。午前中は、特段の公表案件は有りませんでした。しかし、フリーランスの一人から数多くの質問がありました。質問は、東電主体で除洗をやらないのか？冬のボーナスについて？電気料金引き上げについて？原子力発電所の再稼働？などのこれまで頂いている質問をあらためて、確認頂いています。20分質疑をしています。午後に関しては、環境サンプリングを中心に作業予定・実績を説明予定です。

(1F)1F■■■■です。■■■■さんの後任で本日着任しています。

(安定化C■■■■)■■■■さんよろしくお願ひします。それでは、全体会議を終了します。御安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/11(日)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C)本日 12 月 11 日ということで 3 月 11 日の事故から 9 ヶ月が立ちました。この 9 ヶ月間関係者の皆様方のご努力でまもなく冷温停止が達成できるところまでこぎ着けることができました。その一方、まだこの先の完全な復旧・収束への道のりを考えますと遙かな道りであると思ひ、これから改めて引き締めて着実に進めてゆきたいと考えております。それでは本日の作業の進捗、プラントの状況について 1F さんから報告をお願いします。

(1F)本日の天候は晴れ、最高気温は 9℃、非常に穏やかな日曜日でした。おおかたの作業もお休みということで夕方の APD ベースでの入域者数も六百数十名程度ということで非常に少なかった。ただ、明日からは平常通りの作業に戻るとということで先ほど安定化 C と作業の予定を確認しました。プラントの状況は一言でいうと下降傾向、1 号機と 3 号機の RPV、D/W 温度につきまして、昨日より注入量を増加させたこともありまして、緩やかな低下傾向が続いております。また、本日、1 号機と 2 号機の CS 系からの注水量を 1.0m<sup>3</sup>/h づつ増量しております。また、外気温も下がっておりまして、さらに冷却効果が高まるのではないかと思っております。1 号機の PCV 水素濃度も今朝方の 0.7(0.07 の間違い?)から 0.05 と下降傾向が続いております。また、2 号機の使用済燃料プールにつきましても今朝ほどは、30.3℃でしたが夕方の時点で 25.3℃で、半日で 5℃低下しました。

プラントの状況としては安定しています。

(1F 発電班)1 号機は、給水系から 4.4m<sup>3</sup>/h、CS 系から、1.9m<sup>3</sup>/h、合わせて 6.3 m<sup>3</sup>/h で注入中です。RPV 底部ヘッド温度は 43.3℃、D/W 内温度は 45.8℃で、D/W 圧力は 9kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.06%を指示しており低下傾向を示している。SFP 水温度は 14℃です。明日、電源切り替えを予定しておりますのでその準備として明朝 SFP 冷却システムを停止し、電源切り替え終了後、起動予定です。SFP 温度上昇率は 0.12℃/h と評価しており、SFP 温度に問題はありませ

ん。  
2 号機は、CS 系から 6.1m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.8m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.9m<sup>3</sup>/h で注水です。RPV 底部ヘッド上部温度は 74.5℃で、D/W 内温度が 77.14℃、D/W 圧力は 9.6kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.6%で推移しています。昨日起動しました SFP 冷却系ですが起動時のプール水温度は 31.3℃で、現在 25.1℃に下がっており順調に温度低下が進んでおります。

3 号機は、現在 CS 系から 5.9m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.9m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.8m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 65.5℃、D/W 内温度は 59.4℃、D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 15℃です。

4 号機の SFP 水温度は 21℃、共用プールのプール水温度は 19℃です。

5、6 号機の方ですが、SFP、炉心とも順調に冷却しております。トピックは特にあり

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ません。

(1F1~4号復旧班)水移送関係ですが、2号機はHTI建屋へ移送を継続しております。3号機は移送を停止中です。1号T/Bから2号T/Bへの移送は明日の朝まで移送を継続する予定です。水処理の方ですが、サリー、キュリオンとも運転中です。ROは、系列2が運転中です。蒸発濃縮装置については本日、1A、1B、1Cの調整運転を実施、現在は停止しております。明日から本格運転を開始予定。本日、キュリオンのHベッセル2塔交換しております。明日は、サリーのベッセル2塔交換を予定しております。

水位関係は、2号機が今朝から6~8mm上昇しておりまして、T/BでOP2827mm。3号機は7~9mm上昇し、トレンチでOP3492mm。4号機はT/Bは7mm上昇し、OP3047mmです。1号機は、T/B抜管エリアは移送している関係で朝から133mm下降し、OP3325mm、R/Bは6mm上昇でOP3912です。炉注量の増加が多少影響しているかもしれません。継続して監視してゆきたいと思います。

本日の作業ですが、昨晚発生しておりました1号機PCVガス管理システムのA系の伝送異常ですが本日よりリセットしております。つながっていたパソコンが影響している可能性があるということですが詳細は調査中です。本日の炉注調整で出ておりました、3号機CSの炉注ラインの振動ですが大きなレベルではありませんが、明日、錘を付けるなどの処置を安定化Cで検討中です。それから先ほど蒸発濃縮装置のジャバラハウス内に1.0×5.0mの水溜りが見つかったということですが堰内ということで、水もろ過水、線量はBGレベルでした。装置自体停止しておりまして当面運転する予定もなく、補給水ライン並びに蒸気ライン等を「閉」とする対策を考えております。

(1F56復旧班)滞留水関係、本日、散水、移送ともにありませんでした。明日、浄化水の散水ですが野球場周辺でおこないます。6号T/Bから仮設タンクへの滞留水の移送を10:00~16:00で行います。

(1F 土木班)本日、土木の作業はありませんでした。明日ですが、タンク設置工事Gエリアで??整備とハイスイコウ、Hエリアで掘削と地盤改良と埋め戻し、海側遮水壁の関連の作業ですが第一工区でボーリング、第二工区で??ラジコンによる??を予定しております。

(1F 建築班)本日は、3号機がれき撤去のみ実施、T/B屋上でダクトチラー荷下ろし、ラドでのガレキの解体撤去、構台の設置、地組みヤードで架台組み立てを行っております。明日の作業ですが継続になりますが、加えまして、ラドの構台の上に重機をヨウジュウしまして、上部の解体を実施します。また、FSTR建屋での配管の閉止作業を行います。4号機上部ガレキ撤去ですがオペフロ上の瓦礫の片づけ、解体重機のブームの組み換えを行います。スラッジ貯蔵については、PC壁の補修、空調機の基礎の工事を実施します。

(1F)明日、1件ご視察スケジュールが入っております。衆議院経済産業委員会の吉田委員長をはじめ、国会議員の先生方20名、衆議院事務局、保安院長はじめと

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

する同行者、総勢 30 名の方々をご視察される。国会議員の方々をご視察いただくのは今回が初めてです。それから [REDACTED] からありましたように震災から 9 ヶ月ということでこの免震棟にいるメンバー、ご家族も含めて、ここに至るまでいろんな思いがありましたが、前を向いてしっかり進んでゆこうと気持ちを新たにしたところ  
です。

(安定化 C) 安定化 C から 2 点報告事項があります。昨日から炉注量を変更しておりますが、これに伴うパラメータの挙動評価を説明させていただきたいと思ひます。

(安定化 C 原子炉安全評価 G) (書画にて説明) 原子炉への注水流量を戻してきていますので、報告します。1 号は昨日から CS 系からの初めての注入を開始しています。昨日と今日、1m<sup>3</sup>/h づつ注水流量を増やしていますが、若干時間遅れがあつて、温度が下がっています。本日は、増加したところで下がっています。しっかり、炉注されていることがわかります。今後引き続き監視をしていきます。2 号ですが、1 点はねている 130℃ くらいのものですが、HVH の供給側の温度になりますが、かねてから振動している温度計でして、実挙動のものか、今後検証していきたいと思ひます。それ以外は、80℃～60℃の範囲で、緩やかに低下しています。3 号も CS 系からの流量を増やして以降、温度の低下傾向が有りますので、増加の効果があらわれてい  
ます。

(安定化 C) 3 号の炉注バルブの振動対策はどうですか？

(安定化 C 循環注水冷却 G) 振動している流調弁の所に重りをつけて周波数を変えて、振動を押さえようと思ひます。

(安定化 C) 先月末に、原子炉建屋の滞留水について成分をみています。結果が来ましたので、報告したいと思ひます。

(安定化 C 水処理 PJG) 原子炉建屋のサンプリング結果ですが、10～20mSv となっておりますが、当社 3 名で 11 月 25 日にサンプリングしてまいりました。計画線量 6mSv に対して、最大 4mSv でした。結果でございますが、1 号機、2 号機、3 号機としてガンマ核種ヨウ素 131、Cs137、Cs134、全アルファ核種でございます。Cs137、Cs134 は、10 の 5 乗オーダーです。全アルファは、検出されませんでした。塩素濃度については、1～3 号とも低くて 170～310 位でした。淡水への置換が進んだ結果だと思ひます。温度につきましては、1～3 号共約 40℃です。これは、上層部の温度になります。前回 1 号機で取ったサンプルがありますので、それと比較してみました。1 号機で 5 月 27 日採取したデータが 2.5 \* 10 の 6 乗オーダーの Cs134 が確認されてい  
ますが、一桁以上になっています。Cs137 も同等、ヨウ素 131 は、減衰しています。また、炉注による希釈効果が確認できています。これは、炉注した水が、燃料を通過して、原子炉建屋の中に入ってきていて、タービン建屋に入っていると。この滞留水を処理して炉注しているわけですから、循環希釈が進んでいるということです。R/B の 10 の 5 乗オーダーよりも、燃料からの生成物が低い。低いからこそ、希釈が進んでいると。燃料通過直後は、10 の 3 乗程度と予想しています。今後、線量との相談

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

で、継続監視していきたいと思えます。インターバルも考えていきたいと思えます。  
後、先ほど話がありましたが、蒸発濃縮装置の漏洩ですが、シール水ラインから漏洩があったということで、明日以降調査を進めていきたいと思えます。

(安定化 C) R/Bの滞留水のデータですけども、これは、大変貴重なデータです。  
一つは、燃料からの溶出が意外と低いのではないかと。また、アルファ核種が出ていない、これも一つの知見かと。これを、継続して、精度を高めていく、それが出来たら、水処理装置の負荷に対する精度も上がると思えます。

(安定化 C) 1号機のPCVガス管理システムインサービス後の水素ですが、一度3%までいきまして、その後緩やかに低下しています。0.05%くらいです。この形は、2号ガス管理システムをインサービスした時とほぼ同じで、1号よりも一桁低い。理論的な推定値よりも低い値です。こちらがキセノン135のレベルです。AからBに切り替わったりしていますが、10の-2乗から-3乗で検出限界同等レベルです。これは、事前に評価している値と同等です。次にクリプトン85ですが、一端上がりましたがその後低下していますので、事故後どこかに滞留していたものが、吸い出されて低下しているものと考えています。次にダスト放射線モニタですが、こちらも最初上がりまして、緩やかに低下しています。最大で104cpsくらいまで上がっています。これを、Bq/ccに換算しますと、10の-4乗から-5乗レベルになります。かなり低い値になります。D/Wの圧力は、排気が進んでいることもあって緩やかに低下していて、今は安定している。今後も監視していきたい。

(本店広報班) 本日も11時、18時会見を行っています。11時に関しては、休日ということもありまして、グリーンング形式で行っています。約10分で終了しています。18:00につきましては、蒸発濃縮装置での水漏れで、堰の中であること、水漏れは止まっていること、漏れた水は、濾過水ということを説明しています。注水の水は、ROで処理できていて、注水には問題ない旨説明しています。また、所内電源強化で1号SFP代替冷却を停止する予定を説明しています。

(安定化 C) それでは、統合本部全体会議終了します。御安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/12(月)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化C)いくつかトラブルがあった。1号機PCVガス管理システムについて、電源停止操作をした際に停止するということがあった。2号機SFP冷却装置のポンプ出入口流量の差が変動するということが発生しており、自動トリップをバイパスし運転していたが、差流量が大きいという警報が発生する事象が確認された。いずれも、現場での対応により問題はクリアして再起動した。原因はこれからしっかりする。また、先ほどエバポレータ3Cで漏えいが確認されている。

(1F 所長)安定化Cから話があったとおり。パラメータは安定している。

(1F 発電班)1号機は、給水系から4.4m<sup>3</sup>/h、CS系から、1.9m<sup>3</sup>/h、合わせて6.3m<sup>3</sup>/hで注入中です。RPV底部ヘッド温度は41.2℃、D/W内温度は43.5℃、D/W圧力は8kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.02%を指示している。昨晚22:20に電源切替準備でSFP冷却を停止したが、電源切替が終わったので17時頃再起動した。現在のプール温度は、ポンプ入口温度で測定しているため系統が安定したら報告する。

2号機は、CS系から6.1m<sup>3</sup>/h、給水系から2.7m<sup>3</sup>/h、あわせて8.8m<sup>3</sup>/hで注水です。RPV底部ヘッド上部温度は72℃で、D/W内温度が71.9℃、D/W圧力は9.1kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.7%で推移しています。SFP冷却系は22℃であるが、系統出入口の差流量大の警報が発生した。差流量大警報は15:53に発生した。計装ラインの打診を行い17:18警報クリアした。現在、差流量は3m<sup>3</sup>/hになっている。

3号機は、現在CS系から6.1m<sup>3</sup>/h、給水系から2.8m<sup>3</sup>/h、あわせて8.9m<sup>3</sup>/hで注水中です。RPV下部ヘッド温度は65℃、D/W内温度は58.9℃、D/W圧力は0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP水温度は15℃です。

4号機のSFP水温度は22℃。明日SFP冷却システムの系統流量計を点検するため、2時間ほど停止する予定。温度上昇率は0.74℃/hと評価しており、2時間程度の停止でも、2℃以内の温度上昇であると考えている。共用プールのプール水温度は19℃です。

5, 6号機の方ですが、SFP、炉心とも順調に冷却しております。トピックは特にありません。

(1F1~4号復旧班)水移送関係ですが、1号機は9:22に1号機から2号機への移送を停止した。水位はT/Bの水位で28mm下降している。2号機はHTI建屋へ移送を継続しております。水位はT/Bの水位で6mm、トレンチで8mm下降している。3号機は移送を停止中です。水位はT/Bの水位で7mm、トレンチで6mm上昇している。4号機はT/Bの水位で4mm上昇している。プロセス建屋は38mm下降している。HTI建屋は187mm上昇している。

本日8:44から15時にかけてサリーのベッセル交換が行われた。明日はベッセル交

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

換なし。

5, 6号機滞留水は、6号機 T/B から仮設タンクへの移送を10~16時に実施した。明日も同様な時間帯で実施する。ひまわりは、本日野球場Bエリアで80m<sup>3</sup>で実施した。明日Cエリア西門付近で散水予定。

(1F 土木班)いずれも継続作業。タンク関係はGエリアで排水工事、Hエリアで周辺ヤード整備を行っている。海側遮水壁の関連の作業ですが、構内側の遮水壁の関連でボーリング作業を実施している。構外側の遮水壁の関連で南側放水口の全面でシンセン測量を行っている。明日も継続。

滞留水ラインのキリタン工事関係でガラ撤去及びU字構の敷設を実施した。明日も継続。

(1F 建築班)3号機がれき撤去は、本日は東側 T/B 屋上で廃棄ダクト、空調チラーの解体材の荷下ろし、北側ラドで上部の解体、地組みヤードで足場組み立てを行っています。明日の作業ですが継続になります。4号機上部ガレキ撤去ですが、本日はオペフロ上の瓦礫の片づけ、解体重機のブームの盛り換えを行った。明日は5, 6通り間の屋根のトラスの解体と、750t クローラークレーンの組立を行う。スラッジ貯蔵については、PC 壁のサカン補修、水シール、タンクの基礎ブラウトを行った。設備棟では空調機のならしコンクリートの基礎の工事を実施した。明日はスラッジ棟では継続、設備棟では空調基礎のスマダシを行う。

(安定化C)蒸発濃縮装置3Cのサンプリングラインの漏えいについて報告する。タンクの出口にサンプリングラインがあり、サンプリングをとった際に液滴をバケツで受けるためバケツが置いてある。本日16時頃、バケツが満水状態になっており、半径1mほど廃液が床面に溢れ出ていることが確認された。量的には3リットル位と考えている。バケツがいっぱいになった理由は別途確認する。サンプリングラインから水が出てきている状況は確認されていない。原因が分かったら別途報告する。

蒸発濃縮装置2Bのシール水ラインのホースのにじみは、シール水を送るタンクがあり、そこに排気ガスを出すラインが蛇腹状のホースになっており、水が滲んでいることが確認された。本日タンク周りの弁を全部閉めて、タンクの水位を下げて、にじみが止まったことが確認された。

別の報告だが、RO 再循環ラインを現場で設置している。RO 装置処理水の塩分濃度が下がってきたので、出てきた廃液を元に戻して再処理するラインを設置している。明日からROの再循環運転を実施することを計画している。25t/h、300t/dayで処理していく。

(安定化C 外部循環冷却G)1号機ガス管理システムが一時停止した。12月8日にインサービスしたが、B系のままで運転をしてきた。それは、明日の電源停止に併せてA系が運転できなくなることを踏まえてである。今日停止した原因は今後詳細調査していくが、現状確認できる範囲で、A系の制御電源を受電した状態でB系のシステムが動いていたということになる。当時、切替た際に、A系の制御電源から受電

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班  
するかB系の制御電源から受電するか、メカニカルインターロックつまりNFBで切替える装置があるが、A系からB系に切替える際にこのCSを切替えておけばよかったが、切替がされていなかったことがトリップした原因だと推定している。技術図書等確認して再発防止を立てていきたい。

(本店広報班) 11時から単独、16:30から統合会見。午前中は水処理設備の $\alpha$   $\beta$ 核種の分析結果、1~3号機の建屋滞留水のサンプリング結果、注水量変更後の評価等について説明している。蒸発濃縮装置の状況について説明している。特段と大きなやりとりはなかった。16:30からは始まっているが、保安院から文書を貰っており、長期的な安全確保に関するものと蒸発濃縮装置の水漏えい事象について指示文書を貰っている。

(J ビレッジ小森) 吉田委員長以下国会議員20名と保安院他が視察された。対応された方大変お疲れ様でした。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/13(火)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C)本日も、各エリアで全面的に作業が展開され、また大きな怪我もなく、順調に予定通り進捗した。

(1F 所長)今日はけが人もなく、トラブルもあまりなかった。滞留水の移送は2号からの移送を停止したことで、全号機停止している。正門の可搬式モニタリングポストで欠測があったが、現場にいて測定しているので欠測は1回だけである。現状はケーブルを復旧している。

(1F 発電班)1～3号機について、12月11日の炉注流量増加から傾向的に炉底部温度D/W温度はゆるやかな低下傾向を見せている。1号機は、給水系から4.4m<sup>3</sup>/h、CS系から、1.8m<sup>3</sup>/h、合わせて6.2m<sup>3</sup>/hで注入中です。RPV底部ヘッド温度は39.6℃、D/W内温度は42.0℃、D/W圧力は7kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は0.02%を指示している。SFPの温度は15℃である。

2号機は、CS系から6.1m<sup>3</sup>/h、給水系から2.5m<sup>3</sup>/h、あわせて8.6m<sup>3</sup>/hで注水です。RPV底部ヘッド上部温度は70.7℃で、D/W内温度が70.3℃、D/W圧力は8.5kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.7%で推移しています。SFPは21℃である。SFP冷却系の出入口流量変動について17時に測定したところ16m<sup>3</sup>/hと大きくなってきている。注意深くみていく。

3号機は、現在CS系から6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から2.7m<sup>3</sup>/h、あわせて8.7m<sup>3</sup>/hで注水中です。RPV下部ヘッド温度は64.5℃、D/W内温度は58.6℃、D/W圧力は0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP水温度は15℃です。

4号機のSFP水温度は22℃。本日SFP冷却システムの系統流量計を点検するため、午前中に1時間半程度停止した。流量計の単品チェックから異常は確認されていない。プール水温度は22℃で変化なし。

共用プールのプール水温度は19℃です。

5, 6号機の方ですが、海水温度は11.2℃。SFP、炉心とも順調に冷却しております。

(1F1～4号復旧班)水移送関係ですが、1号機から2号機への移送を停止した。水位はT/Bの水位で12mm上昇している。2号機はHTI建屋へ移送を停止した。その後フラッシングまで終了した。水位はT/Bの水位で23mm、トレンチで25mm上昇している。3号機は移送を停止中です。水位はT/Bの水位で7mm、トレンチで6mm上昇している。4号機はT/Bの水位で4mm上昇している。プロセス建屋は39mm下降している。HTI建屋は29mm上昇している。

本日はベッセル交換なし。明日はキュリオンのHベッセル2搭交換予定。(後でAGHに切り替えと訂正)

2号機にて13:18～14:53にかけて、ヒドラジン<sub>2</sub>を2m<sup>3</sup>注入している。

4号機は10:07～11:30にかけて、SFPの冷却装置を停止して流量計点検をして

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

いる。

5, 6号機滞留水は、6号機 T/B から仮設タンクへの移送を10~16時に実施した。明日は移送なし。

ひまわりは、C エリア西門付近で9:00~10:40に散水した。78m<sup>3</sup>散水した。明日はDエリア北門付近及び伐採木あたりを散水する。

明日5号機RHRS (B) ポンプ復旧に伴い、隣のD ポンプと給油系が共用のものであるので一旦RHR系を全停して、給油形配管の復旧を行う。明日7時から17時にかけてRHR全停になる。温度上昇は1.6°C/hと見込んでいる。

(1F 土木班)タンク関係はG エリアで排水工事、H エリアで周辺ヤード整備を行っている。明日も継続実施。海側遮水壁の関連の作業ですが、本日ボーリング作業とシンセン測量を行っている。シンセン測量は本日で完了。明日はボーリングのみを実施。

(1F 建築班)3号機がれき撤去は、本日はT/B 屋上で廃棄ダクト、鉄骨架台解体荷下ろし、南側ヤードでガレキの収集、地組みヤードで足場組み立てを行っています。西側FSTR 建屋奥で貫通配管処理を行っている。4号機上部ガレキ撤去ですが、屋根のトラスの解体と、750t クローラークレーンの組立を行う。スラッジ貯蔵については、PC 壁のサカン補修、水シール、タンクの基礎ブラウトを行った。設備棟では空調機基礎の工事を実施した。明日も継続。

(安定化 C) 蒸発濃縮装置3Cの漏えいについて改めて報告する。16時頃だがバケツから溢れていることを確認している。(写真から)バケツが全部で3つあるが、真ん中のバケツが一杯になって床面にこぼれていることを確認した。19:30頃に2個目のバケツを置いて、ドレンラインからの漏えいがないことを確認して作業を終えている。その後20:30頃、保安検査官と現場に出向したところ、20:50頃2個目のバケツからオーバーフローしていた。1.5m範囲で広がっていた。ラインの元にあったバルブが微開になっていたので全閉操作を実施した。3個目のバケツを置いて、サンプリングラインのホースを挿入し漏れ出てこないことを確認して終了した。21:10頃ラインからの漏えいがないことを確認し、ポンプの出入口弁を閉めて電源 OFF し、22:25ドレンラインから漏えいがないことを確認している。23:40頃さらに、念のため現場確認をしたところ、漏えいがないことを確認した。本日は、漏れでた濃縮廃液を回収して、廃液貯蔵タンクへ移送(後で明日移送と訂正)するとともに現場の除染を実施した。 $\gamma$ で27mSv/h、 $\beta$ で300mSv/h 出ていたが、除染後で $\dot{I}/10$ 程度になった。本件については、蒸発濃縮装置の漏えい事象が数箇所から確認されていることから、保安院から嚴重注意を頂いている。再発防止対策を速やかに報告することとしている。また、原因究明再発防止対策が出来るまでは使用しないこと。漏えい防止対策を万全にするため、残留放射性物質をタンクへ移送すること。を頂いている。

(保安院山本) 嚴重注意の指示を出した。放射性物質を含む水が度重なり発生していることから。指示内容に従い的確な対応をお願いしたい。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C) 先ほど回収した廃液は、濃縮廃液タンクへ移送したと伝えたが、今日遅くまで作業をしていたので明日移送する。

キュリオンの装置は現状3番4番のラインを使いながら、QH ベッセルを使い、放射性物質を除去している。試験的に導入しているものであるが、出口の放射能濃度が上がってきているので、ベッセル交換2塔と説明したが、QH ベッセルを切り替えてアウトサーピスの状態にし、AGH の3に切り替える。

(安定化C滞留水移送 G)凍結対策について説明する。現在2号機からプロセス建屋、HTI 建屋、3号機プロセス建屋、HTI 建屋へ移送している。凍結防止対策として保温が必要なところは外部の2号機3号機間、4号機からプロセス建屋、4号機からHTI 建屋にいつている範囲である。現在、2～3号機間については停止している間に保温材を取り付ける。4号機からのものは、新たに保温材を巻いた PE 管を設置して、施工を行う。ただし、これについては1月一杯工事がかかる予定。その間、運用でカバーしたいと考えている。現在の運用は、弁ユニットを設けておりプロセス建屋、HTI 建屋にいつている。運用による凍結防止対策としては、ラインを通水することを考えている。ポンプを2台回す形で、すべてのラインを通水して凍結防止を図りたい。T/B の水位が下がってしまうことから22時から8時の間の運用とする。前日の平均気温が0℃を上回るか、下回るか、当日の温度が-5℃以下の予報が出た場合はその運用とする。

シミュレーションを実施したが、去年の気温を調べて日にちを設定した。12月は該当する日にちはないが、1月は17日(17回)あった。(グラフで示した)

(安定化 C) 3, 4号機 T/BR/BRw/B 水位はほぼ同等の水位を示しているが、3号機トレンチ水位は約 200mm 高い値を示している。そこで、実際トレンチに入り液面計を使い実測してみた。(原理について書画で説明) 上から水圧式の水位計を基準架台の上に置く。圧力がかかることにより距離に換算し水位を出している。今回は線量が高いので、水位計を垂らして水面の距離を測った。その結果、いずれも現状の水圧式の水位計よりも 222mm～256mm 実際の水位は低いとわかった。10月中旬から昨日まで測定した結果となっている。ほぼ T/B 水位と同一レベルにある。トレンチ水位計は故障はしていないだろうが、200mm 高めの水位を何かしらの原因で示していると考えられる。今後の対応として、3号機の水位に対して+200mm を正にすることとし明日の7時からの運用とする。トレンチ水位については1ヶ月に一回程度液面計で測定していく。ほか水位計についても監視をして必要に応じ校正をしていく。

(安定化C環境影響評価 G) 3号機ダスト測定結果について報告する。11月29日から30日まで測定したが、高めの数値があったため念のため12月5日にも測定した。セシウム 134,137 は  $10^{-4}$  オーダーである。特に高いものではない。その値を用いて評価をしていく。

1号機は PCV ガス管理システム出口の希ガスのデータを採取した。12月9日採取分は、クリプトン85000。現在、出口濃度は 1/7 程度になっている。出口につい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

では準備が整ったので、ダスト測定をしたいと考えている。希ガスは空気中をいくつで放射線は評価的に低くなる。

(本店広報班) 11時と18時で会見している。11時は淡水化装置の再循環運転について説明した。蒸発濃縮装置の漏えいについて、昨日統合会見で説明をしたが、続報という形で24時30分以降に一斉メールした。その関係で、その質問が多かった。保安院から頂いた注意については18時から説明する。18時会見では環境サンプリングにあわせて保安規定変更認可申請について説明している。またダストサンプリングの測定結果を説明予定。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/14(水)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C)特に問題はなかった。  
(1F)晴れであった。風も問題なかった。傷病者の発生もなく、プラントも安定している。  
(1F発電班)1～3号機について炉底部温度、D/W 温度は安定している。1号機は、給水系から 4.5m<sup>3</sup>/h、CS 系から、1.8m<sup>3</sup>/h、合わせて 6.3 m<sup>3</sup>/h で注入中です。RPV 底部ヘッド温度は 38.3℃、D/W 内温度は 41.2℃、D/W 圧力は 7kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は 0.00%を指示している。SFPの温度は 14℃である。  
2号機は、CS 系から 6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から 3.0m<sup>3</sup>/h、あわせて 9.0m<sup>3</sup>/h で注水です。RPV 底部ヘッド上部温度は 69.8℃で、D/W 内温度が 69.0℃、D/W 圧力は 9.6kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.7%で推移しています。本日、給水系の流量を 2.5m<sup>3</sup>/h まで低下していたので、10:40に 3.0m<sup>3</sup>/h に調整を行なっている。SFPは 18℃である。SFP冷却系については6:54に差圧流量大警報が発生したので、現場確認を行ない、漏えいがないことを確認しラインの打診を行ない 7:15に警報クリアしている。今後も監視していく。  
3号機は、現在 CS 系から 6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.7m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.7m<sup>3</sup>/h で注水中です。RPV 下部ヘッド温度は 64.0℃、D/W 内温度は 58.1℃、D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP 水温度は 15℃です。  
4号機の SFP 水温度は 22℃。  
共用プールのプール水温度は 18℃です。  
5、6号機の方ですが、海水温度は 10.8℃。SFP、炉心とも順調に冷却しております。  
5号機は、本日日中に原子炉の冷却を6:29から停止した。RHRS ポンプ用の潤滑油系の予定作業を行ない、16:29に冷却を再開した。起動時の炉水温度は 38.2℃であった。  
(1F1～4 号復旧班)水移送関係ですが、2、3号機の移送が停止中である。3号機は明日プロセスへ移送を開始する。水位は1号機 T/B の水位で 12mm 上昇している。2号機の水位は 19～22mm の上昇で OP2884mm。3号機の水位は6～9mmの上昇で、OP3115mm。4号機は 5mm 上昇している。プロセス建屋は 40mm 下降しており、OP1467mm。HTI 建屋は 3mm 上昇し OP1555mm。  
本日はキュリオンの H ベッセル2搭交換及び AGH ベッセル切替を実施した。起動時の流量は 16.5m<sup>3</sup>/h。現在安定中。サリーは停止中。  
3号機 CST 水抜き作業は、ベンタイウンの調子が悪そうで中断している。  
電源関係として共通 M/C1A の設置に伴う切替作業を実施している。15時42分に終了している。  
明日は滞留水移送ポンプの設置を実施するが、3号機の弁の一部を取外し予定。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

開放に伴う影響は特にないと安定化センターが判断している。

(1F 復旧班)

ひまわりは、D エリア、北門付近に散水した。55m<sup>3</sup> 散水した。明日は C エリア西門及び企業棟付近を散水する。

6号機 T/B から仮設タンクへの移送を、本日は実施していないが、明日10時から明後日16時迄実施する予定。

RHRS (B) のポンプモーターの復旧は終わっている。明日、当該ポンプモーターの単体試験。12月20日に T/R 予定。

明日、6号機 RHRS (A) の仮設 RHRS ラインに繋がっているホースの撤去を行なう。この作業で6号機 RHR は停止しない。ホース撤去の理由は、仮設ホース取付けのため本設スプール配管を取り外しているため、その復旧のため。

(1F 土木班) タンク関係は G エリアで排水工事、H エリアで周辺ヤード整備を行っている。海側遮水壁の関連の作業ですが、構内側でボーリング準備を行なっている。計画5本のうち5本目のボーリング準備である。その他作業は継続。

(1F 建築班) 3号機上部がれき撤去は、T/B 屋上でダクトチラーの荷下ろし、Rw/B で上部の解体、南側ヤードでガレキの集積、地組みヤードで架台及び足場組み立てを行っています。FSTR 建屋で配管閉止処理を行っている。明日も継続。4号機上部ガレキ撤去ですが、屋根のトラスの解体と、750t クローラークレーンの組立を行う。明日も継続作業である。スラッジ貯蔵については、PC 壁のテンパノ補修、空調機基礎の工事を実施した。明日はスラッジ貯蔵については、屋根の PC の取付けを行なう。

(安定化 C 水処理プロジェクト G) 蒸発濃縮装置 3A の漏えいについて報告する。その装置が入っている建物の堰について、ねじのところが一部亀裂があり、そこから系外に流出した。本日、補修が完了した。エポキシ樹脂を塗り、バウンダリが成立した。来週以降、建屋内側からコンクリートを流して完全補修をする。建物の中の除染がある程度進んでいる状況。また、漏えい検知器がなかったとのことで、検知器の設置が本日終わった。明日以降試験を実施する。

滞留水処理状況について報告する。1号機から2号機の移送は週末やることになっており、1号機は O90t? 減っている。2号機については HTI への移送を継続している。3、4号機については、T/B 水位が安定しているので、3号機からの移送を止めている。合わせてキュリオンとサリーの運転についても建屋水位を見て移送量を決めていく。現在、サリーは停止しており、27日頃運転を予定している。キュリオンは20日まで運転して20日から停止予定。処理量はプロセス建屋の水位は OP1600mm である。HTI 建屋は OP1500mm である。処理量は6680を1週間で処理している。累積は 189300 である。ベッセルは9本新たに出ており、保管量は393本。滞留水の分析は11月29日データであるので割愛。DF も 10<sup>5</sup> ベクレル。原子炉建屋のサンプリング結果を見ると、滞留水の濃度は3月から比べると 1/5~1/10 まで下がっている。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

貯蔵量は今週を持って、濃縮水受けタンクの新しい追加分は完了した。全体で116200tの貯蔵量が確保されている。そのうち86000t受入量。淡水については25000に対して、14000。濃縮廃液貯蔵量は95000に対して5100である。

(安定化 C 施設基盤部) au 携帯電話の停止について連絡する。1F は新福島変電所との間で光ケーブルが3回線あった。震災で津波で1回線流れた。もう1回線復旧すべく作っていた。このたび復旧が終わったので光ケーブルの切替えに伴い、au 携帯電話 12月20日16時から17時までの間の30分間、au 携帯電話が使えなくなる。PHS をお願いしたい。同日、7時から8時、16時から17時の間で TV 会議の回線が3秒とぎれる。

(本店広報班) 11時から11時10分まで記者10名へレクした。特段質疑応答はなし。18時から単体会見を実施している。主な内容は高濃度たまり水の処理状況を説明している他、1F 内部被ばくの検査が未測定のまま連絡取れない方の連絡窓口開設を知らせている。6月末時点で514名いた行方不明者がその後調査したことで13名まで減少している。以前として13名いるので、氏名をHPに公表して広く情報提供を呼びかけている。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/15(木)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (安定化 C ■■■■■)本日現場で作業にあられた皆様、また、各方面から現場を支援いただきました皆様、お疲れ様でした。15日、統合本部全体会議を開催します。ここ福島県浜通りでは冷え込みが続いていますが、免震重要棟前を走る道路も、道路に沿って植えられている山茶花が鮮やか彩りを添えているところ。本日もホースへの保温取付工事、電源強化工事、3、4号の R/B でのガレキ撤去工事等々、各方面、各エリア、各部門で全面的に作業が展開されています。ケガもなく、トラブルもなく予定の進捗をみたところ。

(1F 所長)おだやかな天候で無災害記録を10月末から更新中です。山茶花の側は滑って転ばないようにシート養生をしています。

(1F 発電班)1号、2号、3号機とも炉底部の温度、D/Wの温度は緩やかな低下傾向で安定しています。1号機は、現在、CS系から、1.6m<sup>3</sup>/h、給水系から4.4m<sup>3</sup>/h、合わせて6.0m<sup>3</sup>/hの注水です。RPV底部ヘッド温度は37.9℃、D/W内温度は40.2℃です。なお、CS系からの注水量ですが、2.0m<sup>3</sup>/hが設定流量で今1.6m<sup>3</sup>/hまで下がっています。1.5m<sup>3</sup>/hまで下がるようでしたら明日以降調整したいと考えています。D/W内圧力は8kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は昨晚の23時からデジタル表示データが-0.02%となっており、現在は-0.03%の値となっています。後日、計器の校正を行う予定であると伺っています。SFP水温度は15℃です。2号機は、CS系から5.9m<sup>3</sup>/h、給水系から2.9m<sup>3</sup>/h、あわせて8.8m<sup>3</sup>/hの注水です。RPV底部ヘッド上部温度は67.4℃で、D/W内温度が68.3℃です。D/W圧力は10.2kPa<sub>gage</sub>、PCVガス管理システムの水素濃度は現在0.7%で安定しています。SFP水の温度は19℃です。SFP冷却系については現在出口流量が入口流量に対して若干高い検出をしていますが、大きな変化はない状態で推移しています。今後も注意していきます。3号機は、現在、CS系から5.9m<sup>3</sup>/h、給水系から2.8m<sup>3</sup>/h、あわせて8.7m<sup>3</sup>/hで注水です。RPV下部ヘッド温度は63.7℃、D/W内温度は57.8℃です。D/W圧力は0.3kPa<sub>gage</sub>、SFP水温度は15℃です。4号機のSFP水温度は23℃。共用プールのプール水温度は20℃です。5、6号機の方ですが、現在、海水温度は10.9℃です。5、6号とも原子炉、SFPは安定して冷却しています。

(1F1～4号復旧班)水移送関係ですが、2号機は現在移送停止中です。3号機はプロセス建屋への移送を開始しています。14:22に実施しています。水位関係は、1号機は抜管エリアで13mmの上昇です。2号機は20～22mmの上昇でOP2934mm、3号機は6mmの上昇で、OP3132mm、4号機は8mmの上昇です。受け入れ側集中ラドですが、プロセス建屋は19mm下降し、OP1379mm、HTI建屋は1mm下降し、OP1553mm、ほぼシミュレーション通り変動です。滞留水処理装置関係ですが、KURONは安定的に稼働していて、現在、16.3m<sup>3</sup>/hです。SARRYは現在停止中です。本日の実績関係ですが、3号機のCSTの水抜き作業は中断してい

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

ましたが、フラッシングを実施したところ、水が流れるようになりました。おそらく詰まりだと思いますが、現在水抜きを継続して実施しています。明日抜けている予定ですので朝確認する予定です。明日の予定ですが、1号機の T/B 天井クレーンについては、ボイラークレーン協会さんの立会い試験があります。4号機の SFP については、イオン交換装置のインサービスの予定です。

(1F5, 6号復旧班)滞留水関係ですが、ひまわりによる散水は、本日は C エリア、西門、企業棟を散水しました。79m<sup>3</sup>です。明日は F エリア、土捨場の東側を実施予定です。滞留水の移送ですが、本日の10時から明日の16時まで、30時間実施継続中です。5号機で、RHRS ポンプの B のモーター単体試験が本日終わりました。明日から、センターリング、カップリング復旧して、12/20テストランの予定です。同じく6号機の RHRS の A ポンプの復旧も進んでいます。当該ポンプについては、明日から本設の配管を復旧して、12/27にテストランの予定です。

(1F 土木班)タンク設置工事ですが、G エリアで場内整備、排水工事、H エリアで地盤改良を実施中です。明日も継続です。遮水壁設置工事ですが、ボーリングの移動、準備を行なっています。

(1F 建築班)3号上部がれき撤去は、T/B 屋上でダクト・チラーの解体、荷下ろしを行いました。あと、Rw/B は上部の解体、建物廻りではガレキの収集、敷き鉄板の溶接、ヤード関係では鉄骨の搬入、足場の組み立てを行っています。明日は継続です。4号機は、屋根トラスの解体、750tクローラクレーンの組立を行っています。明日も継続となります。スラッジ貯蔵については、屋根 PC の取付を行いました。明日も継続です。

(安定化 C ■■■) 蒸発濃縮装置の 3A で漏洩が発生しましたが、その対策を実施中です。その状況について報告します。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明) 淡水化装置ですが、蒸発濃縮装置に関係しまして漏洩の検知が遅れたということで、その漏洩検出器の設置を本日完了しましたので説明します。中央制御室から本来、無線等で考えていましたが、有線で今、敷設しました。蒸発濃縮装置の 3 のエリア、ここに 3A, 3B, 3C とありますが、そちらについて今原因究明をやっていますので、そちらは今回は敷設していません。今後、原因究明を完了させた後に敷設しますが、それ以外の蒸発濃縮装置 2、RO2、RO1、RO3 の敷設が完了しています。敷設状況ですが、警報装置、本日の午後、発報試験をしまして、赤ランプが点滅するように設計しています。一目瞭然と言う状況です。設置ですが、RO3 の蛇腹、RO2 の蛇腹ハウスですが、足元に気をつけるようにトラロープを貼り付けた角形を加工したところに接点方式の漏洩検出器のセンサーを引き出して入れています。これが設置状況です。また、これと合わせて、保安院さんから蒸発濃縮装置からの放射性物質を含む漏洩にかかる事象に鑑みて、原因対策並びに必要な処置をするようにという指示文書をいただいています。細かい表ですが、概略のスケジュール案を示します。3A の漏洩です。系外の放出という形になりまし

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

たので、保安院さんから2番から7番までの屋外の設置用ハウスの堰の健全性を確認しなさいということで、指示を受けまして、こちらは12/9までに済んでいます。RO、蒸発濃縮装置の蛇腹ハウスです。それ以外の建屋の堰の健全性ということで、KURIONが入っています焼却工作建屋、SARRYが入っています HTI 建屋、こちらの健全性確認、これも問題がなかったということです。コンクリートの一部のひび割れの修理もするというので、RO 装置の表面層のひび割れ、こちらはエポキシで処理しています。漏洩があった蒸発濃縮装置の3のハウスの内部について、外面からのひびの目地の割れの修理は終わっていますが、内面からしっかりコンクリートを流して処理をすると、これは概ねクリスマス頃までには終えたいということで準備しています。漏洩検出器の設置、これは本日終了しました。巡視点検等、監視強化、これは今4時間毎にやっていますが、漏洩検出器が付いたので、今後こちらにバトンタッチしたいと思います。(聞き取れず)手順を定めなさいということで、こちらも年内にしっかり定めたいと思っています。それ以外にコンクリート面のたたきの床ですが、発電所のようにエポキシ樹脂を塗ると漏洩、その後の対策が取りやすいように、床面塗装を年明けから順次やっていきたいと思っています。監視カメラの設置についても検討していきたいと思っています。原因の究明については、来週早々から通水試験を行って、ガスケットのパッキンの交換等を進めるべく原因究明を進めていきます。それ以降、保安院さんの支持を仰ぎながら対策していきたいと思っています。3C ですが、サンプリングのラインの漏洩がありまして、こちらの原因究明を今進めていますが、仮設で付けたサンプルラインですので、こちらの処置がよろしくなかったというふうに分析しています。今後は、残水のスラッジが当時でてしまいましたが、その抜き取りの作業を来週行います。3Bと3C、それから3Aも同時に通水試験をやりながらスラッジの抜き取りに入ります。サンプリングのラインは使用頻度が少ないものですので撤去していきます。2B のシール水が淡水でしたが漏洩した件について原因究明中ですが、操作手順に問題があったと分析しています。これもきちんと確認次第報告します。

(安定化 C ■■■■■)しっかり原因究明して年内を目標として報告していきます。引き続き関係者の皆様よろしく願います。もう一件、原因究明と対策の計画についての報告です。2号機のプール冷却用のポンプの差流量の問題についての原因究明と対策の計画の報告です。

(安定化 C 外部循環冷却 G) (書画で説明)2号機のプール冷却ですが、差流量の警報が何度も頻発しシステムが停止したということがありましたので、現在、警報、差流量が大きくなったときには警報を発するもののシステムはトリップバイパスをかけている状況です。この時点でそのような処置をしまして、システムを起動しています。最初の頃やはり、出口流量が赤で入口流量が黄色になりますが、赤の出口流量が比較的安定した状態、入口は変動してしまっていて、2日ほどで出口流量が低下の傾向を示してしまっていて、12/12の昼の15:34に一回トリップしています。このときは、1時

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

間半ほどで若干戻ってきました、その段階で1回警報がリセットできまして、その後、計装配管の付け根を打振したところ指示が入口側が80位で出口側が77位となっています。その後しばらくすると低下したということで、このあたりで低い値で推移していましたが、14日の朝6:54に再度出口側が下がりがまして、差流量大の警報が発生しています。この日は、前の打振の効果がありましたので、また打振をして同じように指示が84と77に戻っています。現在の状況ですが、出口側の流量は比較的安定した状況ですが、入口側が変動している状況です。今後の対応状況ですが、流量計の前にフローエレメントがあります。ここから2つのラインがありますが、差圧をとっている計装の元ラインとなります。上からみた図がこちらになっていまして、フローエレメントがここにあつて、計装配管がこのようにできています。この配管ですが、フローエレメントの入口と出口で切断して、さらには計装配管を抜き取りまして、エレメント自体を取外したいと思っています。内部の確認と洗浄をしたいと思っています、異物が採取できるのであれば採取して分析したいと考えています。その後ですが、接続面はフランジ接合と、計装配管にはユニオンを取り付けまして復旧したいと思っています。今後、一度清掃するのでよいと思いますが、今後また詰まる等いろいろなことがありましたら、ユニオン部、計装配管のところから清掃するか、あるいはフランジを外してまた清掃するか、中の状況にも依りますが、そのようなことができるようにはしたいと思っています。もう一つですが、こちらは漏洩の監視の警報が発生するようにしていただいて、漏洩監視を対策の検討をしています。現在、スキマーサージタンクのレベルを見て漏洩状況を確認できますが、今お示ししているのが、レベル計からデジタル記録計、これは中央制御室にあります。それに信号が送られていまして、免震棟までパソコンで取込んでいます。ここまで信号が来ていますので、この免震棟の情報、パソコンの情報から、スキマーサージタンクの水位の変化率を解析して、免震棟内の監視システム、このシステムの中で変化率が大きくなったら音を発生させるようにしたい。そういうことで、認知システムの仕組みを強化したいと考えています。工程ですが、フローエレメントの切断と清掃、復旧の予定ですが、12/20に作業準備をしまして、21日～22日に配管を切断、内部の洗浄をしたいと思っています。23日にフランジを復旧してその後、内部の状況を確認した上で結果の評価をしたいと思っています。代替の漏洩監視ですが、先程の音を出す仕組みはソフトが必要で、その納期が大体2週間くらいということを知っていますので、それを納入してからになりますので、12月中旬から1月上旬くらいまでに入手しまして、1月上旬にはスキマーサージの警報が出るシステムにしたいと考えています。その他の検討で(聞き取れず)サンプリング等を実施していますので、3号との違いを比較検討していきたいと考えています。

(安定化 C ■■■) 作業にあたっては慎重に進めていきたいと思っています。もう一点、報告です。昨日、1号機のPCVガス管理システムの出口ダストのサンプリングを実施しました。その結果について報告します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

(安定化 C 原子炉安全評価 G) (書画で説明) 1号機 R/B ですが、今、現状(聞き取れず)が入っています。PCV ガス管理システム、これが試運転ということで動いていますが、そのフィルター出口でダストを採取し解析した結果です。12/14採取しまして Cs134 の濃度は ND でした。Cs137 は  $5.3 \times 10^{-6} \text{Bq/cm}^3$  でした。流量は  $15 \text{m}^3/\text{h}$  ですので、これを掛け合わせますと放出量がでますが、 $140 \text{Bq/h}$  ということで 1F1 号機の放出量評価値全体の約 20000 分の 1 ということで非常に小さい値でした。

(本店広報班) 11 時の前に 8:45 に西澤社長が環境庁に行きまして環境大臣から委嘱状の通知をいただいています。内容は、除染活動の技術支援ですが、これに対して大臣から除染活動推進委員として当社並びに関係企業 36 名に対して委嘱をしますという通知を受けています。これはマスコミにオープンで行われていますので、お昼のニュースですとか、夕刊にもおそらく掲載されるという形でご理解をいただいています。また、午前中は 11 時から定例のレク、会見をしています。こちらは 15 分程度で終わってしまっていて、主に水処理関係、タンク容量ですとかタンクの信頼性向上するための配管の取替ですとかその作業状況について確認を受けている状況です。淡々と 15 分で終了しています。午後は 18 時から会見が行われていまして、定例の環境サンプリングの他、1号機、2号機の PCV ガス管理システムのサンプリング結果および滞留水移送に関する凍結防止対策、また今日保安院様の意見聴取会があったことから、高経年対策と地震による経年劣化の影響ということでこちらの意見聴取会での説明資料を説明する予定です。合わせて、1号機～4号機に対して中期安全確保の考え方に関するその 3 という形で報告書を保安院に 17:45 に報告していますので、この後 18:50 にプレス予定です。合わせて現在行われています会見の中で説明を予定しています。

(安定化 C ■■■■■) 12/15 統合本部全体会議を終了します。ご安全に。

～全体会議終了～

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

<12/16(金)の時系列メモ>

～全体会議～

18:00 (野田総理大臣会見視聴)

(安定化 C ■■■■■) 全体会議を開催します。

(1F 所長) 今日朝から雪がちらつく寒い天候でした。災害はありませんでした。

(1F 発電班) 1号、2号、3号機とも炉底部の温度、D/W 内の温度は安定しています。

1号機は、CS 系から、1.6m<sup>3</sup>/h、給水系から 4.5m<sup>3</sup>/h、合わせて 6.1m<sup>3</sup>/h の注水です。なお、本日午前中に CS からの注入量について、自然降下減少調整のため、1.6m<sup>3</sup>/h から 2.0m<sup>3</sup>/h に増加操作を行っています。RPV 底部ヘッド温度は 35.6℃、D/W 内温度は 38.3℃です。D/W 内圧力は 8kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムは水素濃度について本日中に計器の点検校正を行いまして、現在は 0.00%の検出となっています。SFP 水温度は 15℃です。2号機は、CS 系から 6.0m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.9m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.9m<sup>3</sup>/h の注水です。RPV 底部ヘッド上部温度は 67.4℃で、D/W 内温度が 67.2℃です。D/W 圧力は 9.8kPa<sub>gage</sub>、PCV ガス管理システムの水素濃度は現在 0.7%で安定しています。SFP 水の温度は 18℃です。SFP の冷却システムについては現在、冷却設備出口流量が入口流量に対して若干低い検出となっていますが、安定しています。3号機は、現在、CS 系から 5.8m<sup>3</sup>/h、給水系から 2.8m<sup>3</sup>/h、あわせて 8.6m<sup>3</sup>/h で注水です。RPV 底部ヘッド温度は 63.4℃、D/W 内温度は 57.5℃です。D/W 圧力は 0.3kPa<sub>gage</sub> で変化ありません。SFP 水温度は 15℃です。4号機の SFP 水温度は 22℃。共用プールのプール水温度は 19℃です。5、6号機は、海水温度は 10.5℃です。5、6号とも原子炉、SFP 冷却、安定に行われています。

(1F1～4 号復旧班) 水移送ですが、2号機から HTI は停止中です。明日2号からは HTI ならびにプロセス建屋へポンプ2台で移送する予定となっています。3号機はプロセス建屋へ移送中ですが、こちら明日停止予定となっています。水処理については、SARRY は停止継続中です。KURON は17時現在で 71gpm、16.1m<sup>3</sup>/h で処理をしています。RO については、本日 11:38、RO2-2 で高圧ポンプ振動大が確認されて手動で停止しています。こちら月曜日に点検を実施する予定になっています。RO2-1 は運転を継続していましたが、SPT の水位が低いということで運用の関係で 18:01こちらも停止しています。蒸発濃縮装置は、1A から 1C 朝まで運転していましたが、7:30に運用によりこちらも停止して、月曜日に再起動する予定になっています。本日ベッセルの交換はありませんでした。明日は KURION の H ベッセル2塔の交換が予定されています。水位は、2号機は今朝から 22mm 程度上昇して、いまして T/B の水位が OP2985mm になっています。3号機は 6～25mm 程度下降して、いまして、トレンチの水位が OP3139mm です。4号機の T/B は 2mm 下降で、OP3112mm です。1号機は、R/B が 15mm 上昇の OP3181mm、T/B 抜管エリアは 12mm 上昇の OP3207mm という状況です。受け入れ側のラドですが、プロセス建屋

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

は 60mm 上昇の OP1538mm、HTI 建屋は変化なしの OP1553mm となっています。作業関係ですが、本日、HTI 建屋、大物搬入口にあります電源盤で焦げ跡があるというのを協力企業さんが見つけています。頭の MCC 3A を切りまして(聞き取れず)分離しまして、MCC 3A についてはその後復旧しています。12:05 に消防の確認をいただきまして火災ではないという判断をいただいています。3号 CST は本日水抜きを完了しています。今後の作業スケジュール及び作業内容については調整中の状態です。電源関係では、大熊線 2L からハウスボイラーの 2BSTr の A の方に本日受電をおこなっています。1号機の天井クレーン、ボイラークレーン協会の立会いで荷重試験を行いまして無事完了しています。廃スラッジの貯蔵設備の設置工事ですが、作業員の集団の下痢が発生したということで、検査の結果ノロウィルスと判明しまして、今日は作業は休工となっています。明日、事務所と休憩所の消毒を行うということで、これは協力企業の事務所という意味ですが、消毒を行います。

(1F5, 6号復旧班)浄化水の散水、明日は F タンクエリア周辺で行います。滞留水の移送はありません。

(1F 土木班)汚染水の処理設備、タンク関係ですが、G エリアで排水工、場内の整備、継続となっています。H エリアでは造成、継続です。遮水壁は、海峡側、こちらで最後のボーリング、5工区目、こちらの準備に入っています。

(1F 建築班)3号機 R/B 上部がれき撤去工事ですが、本日は、東側 T/B の屋上の排気ダクトの解体、荷下ろし、北側 R/B は上部の解体、その他構台、地組ヤードでは足場の組み立て、路盤整備を行いました。明日も継続で行いますが、東側の T/B の屋上では解体用の置き構台の降ろし作業を行います。4号機 R/B 上部がれき撤去工事ですが、本日は、5, 6通り間の屋根トラスの解体、750t クローラークレーンの組立です。明日はトラスの解体用の重機が腕の一部に変形が見つかりましたことから、明日は一部腕の部材の取替を行います。引き続き 750t クローラークレーンの組立となります。スラッジ貯蔵施設建築工事ですが、スラッジ棟では足場の組み立て、壁の補修、設備塔ではボンベの床の左官補修を行いました。明日は先程のノロウィルスの関連で全休となっています。

(1F ■■■)保安規定に関する情報を提供します。中期的安全確保の考え方に基づく施設計画に関わる報告その1に関する変更ということで、原子炉等規制法に基づく保安規定を13日に提出しまして本日プレス発表をしましてとおり、本日付で認可いただいています。今回 LCO の判断など、安定化 C も関係する規定となっていますので、よろしく願います。この保安規定ですが、12/19 月曜日午前0時より施行します。今回変更認可いただきました保安規定は12/19 月曜日午前0時より施行します。よろしく願います。

(安定化 C ■■■)先程のヤードの件、絵を使って報告します。

(安定化 C 水処理 PJ 部) (書画で説明)分電盤の焦げ跡ですが、写真と状況説明します。本日の午前9時頃ですが、分電盤が、HTI 建屋、SARRY がおさまっている建

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

屋です。こちらの北側の比較的外に近いところ、大物搬入口の近くですが、その分電盤の中を調べていましたが、焦げている跡があるということで確認されました。こちらの電源は HTI 建屋の搬入するクレーンに使っている電源です。SARRY の運転その他の電源は別の箇所から取っていますので、関係ありませんので SARRY の運転には支障はありませんでしたが、そのような事象がありました。こちらは至近で使ったクレーンではありませんで、もともとは最初の5月の段階で HTI 建屋のドラム缶を片づけるということで、クレーンを動かした、そういう電源です。その後、こちらについては撤去しまして新しいものに入れ替えたいと思います。また、焦げた原因等は今後調べていく予定にしていますが、一部、上流の MCC を一旦アイソレしてこちらを隔離した関係上、HTI の水位計、こちらがぶら下がっているラインが一瞬切れました。午後の段階で復帰しています。HTI への送水は今回なされていなかったので、水位は維持されています。

(安定化 C ████████) 1号機の PCV ガス管理システム、今調整運転をしているところですが、ほぼほぼ初期のトラブルなどがクリアできていますので、今後の運転計画について説明します。

(安定化 C 原子炉安全評価 G) (書画で説明) 本日、1号機のガス管理システムの水素濃度、酸素濃度計の校正を行っています。その結果、水素濃度はかなり低い値であることが確認されました。これがどの程度の値であるかという、理論的に予測される数字に対して約50分の1くらい、2号はほぼほぼあっているにも関わらず、1号はかなり低いので、これについては今後、原因の検討等を含めて検討していきたいと考えています。ガス管理設備で水素濃度が計れるようになりましたので、1、2号については、RPV および PCV への窒素封入の量を調整したい、減少させたいと考えています。それぞれ、窒素封入量を15、1号機が15と28、2号機が15と16ということで水素濃度の管理としては0.1%未満、2号が0.7%といったところで管理をしていきたいと考えています。今後の予定ですが、水素濃度、酸素濃度の校正が終了しましたので、このままプラントのパラメータを監視しまして、週明け月曜日あたりまで監視し特に変動がないでしたら、1号機PCVガス管理設備の本格運用に移行したいと考えています。その際、1号機のガス管理設備では連続でキセノンを監視していますので、キセノンの臨界監視を1Bq/cc ということで設定をし、監視をしていきたいと考えています。ちなみに、現時点でのキセノンの濃度は $1 \times 10^{-3}$  オーダーということで充分低い値で推移していますので、1Bq/cc ということであれば充分臨界検知ができると考えています。

(本店広報班) 本日は、11時に単独会見、午後は19時から統合会見です。ご存じのように道筋の会見ということで細野大臣、西澤社長がご説明する予定になっています。

(安定化 C ████████) 毎日やっている全体会議は終了します。

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

～全体会議終了～

統合対策全体会議

～開始～

18:45 (本店本部) 政府・東京電力統合本部全体会議を開催します。なお、本日の会議につきましては TV 放送されることをご承知置きくださいますよう、よろしくお願いいたします。まずは、当社側からプラントの状況をご報告させていただきます。

(1F 所長) ご報告に先立ちまして今回の事故により地元の皆様を始め多くの方々大変なご迷惑、ご心配をお掛けしていますことを心よりお詫び申し上げます。プラント状況についてご報告します。3/11の事故発生以降、原子炉、燃料プールの冷却を始めとした事故収束に向けた取り組みによりまして、原子炉圧力容器底部、格納容器の温度は概ね 100℃以下で安定した状態になっています。原子炉への注水をコントロールすることによりまして、格納容器からの放射性物質の放出についても大幅に抑えられている状態となっています。また、いわゆる循環注水冷却ですが、このシステムも多重のバックアップを備えて安定して運転しています。その他の STEP 2 に関わる工事につきましても、本日までにすべて完了いたしました。本日 STEP 2 完了を向かえることができたいことにつきまして、これまでの政府の方々、協力企業の皆様のご指導、ご協力に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。今後は、1～4号機の廃止措置に向けまして、安全第一に着実に作業を進めてまいります。引き続き、皆様のご指導、ご協力をお願いいたします。

(本店本部) 只今のご報告を踏まえまして、政府・原子力災害対策本部からのご報告とご挨拶を頂戴したいと思います。まず始めに細野大臣からよろしくお願いいたします。

(細野大臣) 先程、第22回の原子力災害対策本部が開催されました。この本部の会議の中で、東京電力福島第一原子力発電所事故の収束に向けた道筋で定めた STEP 2 の完了が確認されました。事故にあった原子力発電所の原子炉については安定状態を達成しており、発電所の事故そのものは収束に至ったものと判断したものです。この事故収束に至るまでに本当に第一原発で頑張られた皆さん、オフサイトセンター、第二原発で支えていただいた皆さん、さらにはオフサイトセンター、現地対策室で支えていただいた皆さん、多くの皆様のご支援があったことに、そして皆さんのがんばりがあったことに心より感謝を申し上げたいと思います。また本店には東京電力、関連会社の皆さん、さらには政府の関係者が今日は久々に揃っていますが、皆さんお一人お一人のご努力に対して心より感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。今日は、事故発災以降、この現場を指揮する最大の功労者である海江田前経済産業大臣にもお出ましをいただきました。先程、野田総理

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

から、そして菅前総理からも私に電話に対して、特に現場で頑張っていた、ここまで本当に命をかけて努力をしていただいた作業員の皆さんに特に感謝を申し上げたいと、そういう意が表明されたことを皆さんにお伝えを申し上げたいというふうに思っています。これからも、廃炉、廃止措置に向けてはまだまだ難しい作業が続くと考えています。皆さんのご努力によりまして多重性、多様性が確保され、どんなトラブルがあったとしてももう地域の住民の皆さん、国民の皆さんにご心配をお掛けすることなく廃止に持っていけるところまでできているというふうに考えていますが、是非皆さんとともに、政府も気を引き締めて廃止措置に取り組んでまいりたいと思いますので、その意識合わせも合わせて行いたいというふうに考えています。明日、私と園田大臣政務官とで 1F の皆さん、2F の皆さんのところに伺いまして意見交換をさせていただきたいと思っておりますので、是非、今後の廃炉措置、廃止措置に向かう率直な皆さんのご意見をいただけますように、合わせてお願いを申し上げます。この、原子力災害対策本部の会合の中で、これまで継続してまいりました政府・東電統合対策室を廃止しまして、廃炉作業を推進する政府・東電中長期対策会議を新設することが決定しました。早速来週には中長期のロードマップの在り方についても皆さんとしっかりと協議をして方向性を皆さんにお示ししたいと考えています。そういった意味では、STEP 2 は終了しましたが、これからも事業者の皆さん、東京電力の皆さんを始めとした事業者の皆さんと、そして政府との共同作業が続くということになりますので、是非これからも皆さんとともに頑張っていくというそういう思いでともに進んでいただけますように心よりお願い申し上げます。最後に重ねて 3 / 1 1 からご努力をいただいた全ての皆さんに心より感謝を申し上げまして、この統合対策室最後の会議におきましての私、大臣として責任者としてのご挨拶にさせていただきたいと思っております。本当にお疲れ様でございました。ありがとうございました。

(本店本部) 細野大臣、ありがとうございました。引き続きまして、本日、海江田元大臣においでいただいておりますので、ご挨拶をお願いしたいと思います。

(海江田元大臣) ご紹介いただきました、元経産大臣の海江田万里でございます。今日は細野原子力故収東大臣のご配慮によりまして、この統合対策室全体会議、こういう統合対策室の全体会議は今日が最後となるわけですが、お招きをいただきまして、そして発言の機会を与えていただきまして、感謝を申し上げます。そして、何よりも私が申し上げたいのは、3 / 1 1 の事故発災以来、本当に頑張っておられた現場の皆様方、そして、それを支えた多くの皆様方、東電の社員の皆様方ももちろんでございますが、協力企業の方々、あるいはメーカーの方々、こういう方々の本当に多くのこのご努

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

力あったということに、そしてもちろん、官の側では、自衛隊の方々、警視庁・警察庁の方々、消防庁の方々、各自治体の消防の方々、こういう方々の大変なご苦勞もございました。そうした方々がとにかくこの事故を一日も早く、一刻も早く収束をさせようというこの思いはそれぞれ着ておりましたユニホームは別でございますが、やはり一日も早くこの事故を収束させて、そして、まだ今なお避難を余儀なくされている方々もいらっしゃるわけでございますが、そういう方々に古里に帰っていただいて、あるいは一部もう帰っている方もいらっしゃいますが、だげどそういう方々がやはり一日も早く安心をして生活をしていただく、あるいは、多くの日本の国民の方々も心配をされているわけでございますが、こういう方々の一日も早い安心のために頑張ろうということ、このことは本当に私もこちらに3/15からお邪魔しております、最初の3ヶ月くらいはずっと、ほとんど毎日こちらにお邪魔していましたが、私、本当に皆様型の心をついにしたこの思いというものをしっかりと受け止めております。本日で、こうした統合対策室は解散をすることとありますが、やはり私どもがこの3/11の事故の発災以来思ったその気持ちというもの、これはやはりこれからも持ち続けていかなければならないと思います。私自身も経済産業大臣という立場を退きましたが、やはり本当に皆様方と心をついにして、この事故に立ち向かったということとは決して忘れ得ぬこととありますし忘れてはいけないこととありますし、これからの一国会議員としてあるいは一国民としてこの事故の収束に向けてやれることは何でもやるつもりでおります。本当に皆様方のご協力、お力添え、そして献身的な努力に感謝申し上げますとともに、残念ながら今、吉田所長が病の床に伏せておりますが、吉田さんとも何度もこのTV電話を通じて、あるいは直接お目に掛ることもありまして、本当にこの事故の収束に向けて頑張ってくれたわけでございますから、何よりもこの第二ステップが終わったということをご喜んでおられるに違いありません。吉田所長の一日も早いご回復、病気からの回復を合わせて願う次第でございます。本当に皆様方、ありがとうございました。そして本当にまだまだ解決しなければならない問題がありますから、一緒になってこの問題を解決していきましょう。私からは以上でございます。ありがとうございました。

(本店本部) 海江田元大臣、本当にありがとうございました。続きまして園田大臣政務官、ご挨拶をお願いしたいと思います。

(園田大臣政務官) お疲れ様でございます。統合対策室、本日で終了と、解散ということになったわけでございますが、まさしく多くの皆様方のお力添え、力を結集していただいて今日を向かえことができた、私も思っております。心から感謝を申し上げたいと存じます。とりわけ、福島第一原子力発電所の現場で働いていらしゃった皆様方には私もこのTV画面を通じてま

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内およびTV会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っていません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

してではありましたが、何度も何度も心からご安全にという言葉を含めて申し上げてきたつもりでございます。そういった中で今、海江田前大臣からもお話しがありましたけれども、吉田前所長の現場を一番とする強い気持ち、そして作業員の安全をしっかりと守っていく、その強い使命感と責任感、私は大変心に打たれた次第でございます。そういった面では、次の所長がその思いを引き継いでいただいて、これからも長い長い工程になるかと存じますが、現場の作業員の安全を旨としてこれからも取り組んでいただけることを心から祈念をするものでございます。何はともあれ本日を向かえることができましたことを、心から全ての皆様方に私からも感謝と御礼を申し上げる次第でございます。そして、今後の長い長い中長期の対策、これは皆様方とともに私たちもあるんだと、現場の皆さん方とともに気持ちも一緒になって取り組んでいく、そして必ずやこの事故から立ち上がっていった、復旧と復興をしたということを全世界に対してもお示しをできることを、日が一日も早くくることを私も願って止まない形でございます。どうぞこれからもともに頑張ってもらいましょう。ありがとうございました。

(本店本部) ありがとうございました。只今政府の原子力災害対策本部からのご報告、並びに細野大臣他ご挨拶をいただいたわけでございますが、私ども勝俣よりご挨拶させていただきます。

(勝俣会長) 会長の勝又でございます。東京電力を代表しまして、一言お詫びと御礼を申し上げたいと存じます。まずは、福島第一原子力発電所の事故によりまして、福島県の皆様方をはじめといたしまして、社会に広く大変なご心配、ご迷惑をお掛けしましたことを心からお詫び申し上げます。どうも、申し訳ございませんでした。只今、細野大臣、海江田元大臣、園田政務官からお話しをいただきましたとおり、本日、政府から福島第一原子力発電所の循環注水冷却システムの中期的安全が確保されていることにつきましてご確認いただき、STEP2の目標を達成し、事故を収束することができました。これは、ご支援、ご指導賜りました大臣、政務官をはじめ政府関係者の皆様、福島県の皆様、内外の企業の皆様のご尽力、そして当社社員の弛まぬ奮闘のおかげと思えます。心から御礼を申し上げます。ありがとうございました。この9ヶ月、いずれの工事、作業も高線量下で、かつ、夏場の猛暑といった厳しい環境の中、防護服、マスクを付けて大変な作業であったと思えます。また、前例の作業を実施するにあたり、様々な分野の技術者が英知を結集することで、数々の困難を乗り越えることができました。事故の収束、安定状態の確保に向けて一丸となって努力していただいた全ての皆様に感謝の気持ちで一杯です。あらためて、よくやってくださった、ありがとうございましたと御礼を申し上げます。本日をもちまして、統合対策本部は解散となりますが、今後も一層気を引き締めて、政府や関係各位のご指導とご協力を得て燃料の取り出

(非管理メモ)

本資料は、本部円卓内および TV 会議で行われた会話のメモであり、次の事項を留意の上、関係者限りの情報として活用願います。

- ・個人の発言に対して内容の確認を行っておりません。
- ・時刻について公式発表と異なる場合があります。

本店原子力情報班

しや廃棄物の管理など、中長期的課題にしっかりと対応してまいりたいと思  
います。皆さん、引き続き安全第一でよろしくお願い致します。どうも、あ  
りがとうございました。

(本店本部) 今ご報告並びにご挨拶を頂いたわけですが、終了に先立  
ちまして、本日、平成 23 年 12 月 16 日以降の当社における緊急時体制につ  
きまして、簡潔にご説明をさせていただきたいと思えます。福島第一原子力発  
電所の事故に伴いまして、3/15 に発足いたしましたこの政府・東京電力  
統合対策室は、この会議をもちまして廃止をいたします。今後につきましては  
は、原子力事業者防災業務計画に基づいた、東京電力の緊急時対策本部にお  
いて継続運営をいたします。緊急時対策本部の情報共有する会議は当分の間、  
18 時より開始ということで実施してまいります。引き続き気を緩めること  
なく、緊張感を持って取り組んでいきたいと思えます。以上を持ちまして、  
政府・東京電力統合対策室全体会議を終了したいと思えます。最後に大きな  
声でご安全にをして終了したいと思えます。ご安全に。

～統合対策全体会議開始～

以上